

調査結果の概要

本調査では、身体障害者、知的障害者、精神障害者の3種類の調査票によりそれぞれの障害者ごとに調査を実施した。

調査結果も、報告書の「第2章 身体障害者の状況(19p～94p)」「第3章 知的障害者 95P～148p)」「第4章 精神障害者の状況(149p～205p)」にそれぞれの障害ごとに掲載した。

また、それぞれの障害ごとの調査票間で共通であるもののうち、相互に比較することが可能なものは、「第5章 身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況(206p～222p)」へ掲載している。

調査結果の概要は、この報告書から主な調査結果を抜粋したものである。

身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況

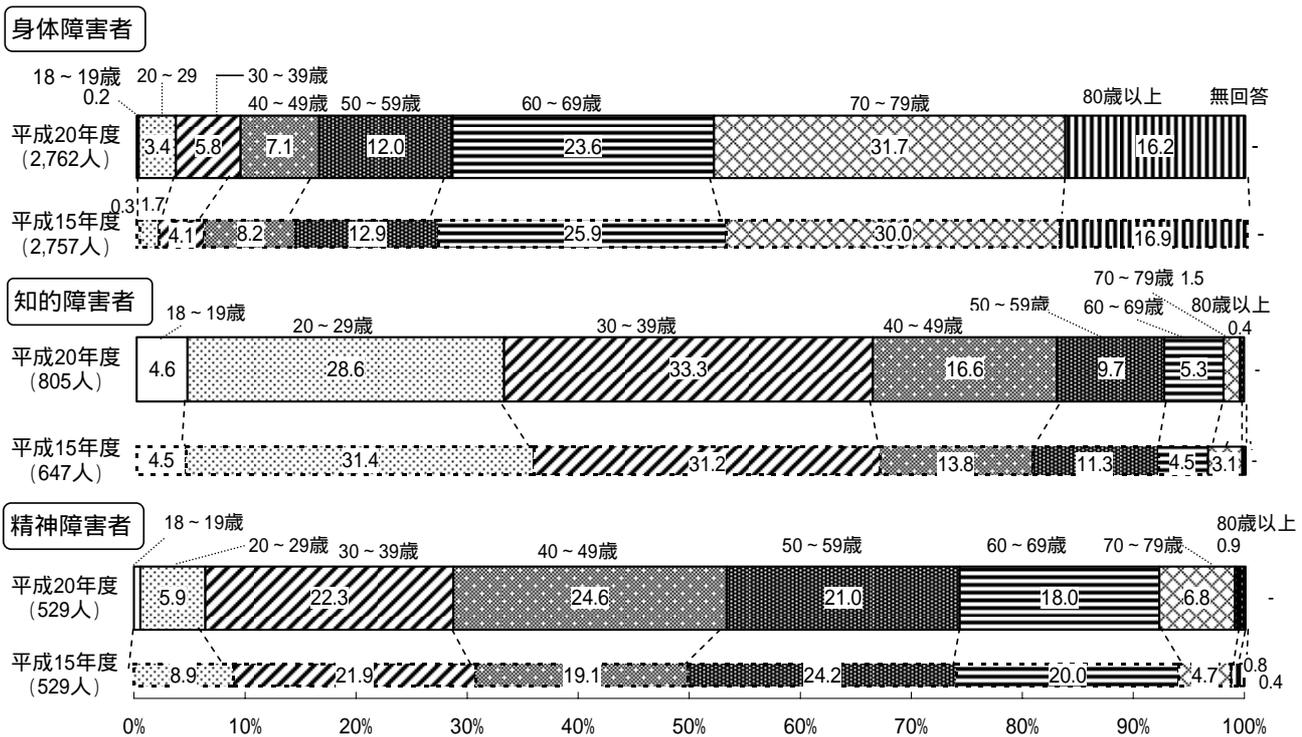
報告書「第5章 身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況(206p～222p)」からの主な調査結果の抜粋

1 回答者の概況

年齢階級

回答者の年齢階級をみると、身体障害者では「70～79歳」の割合が31.7%、知的障害者では「30～39歳」が33.3%、精神障害者では「40～49歳」が24.6%とそれぞれ最も高くなっている。身体障害者は、60歳以上の割合が、71.5%と7割を超えている。(図 -1-2 本文 207p)

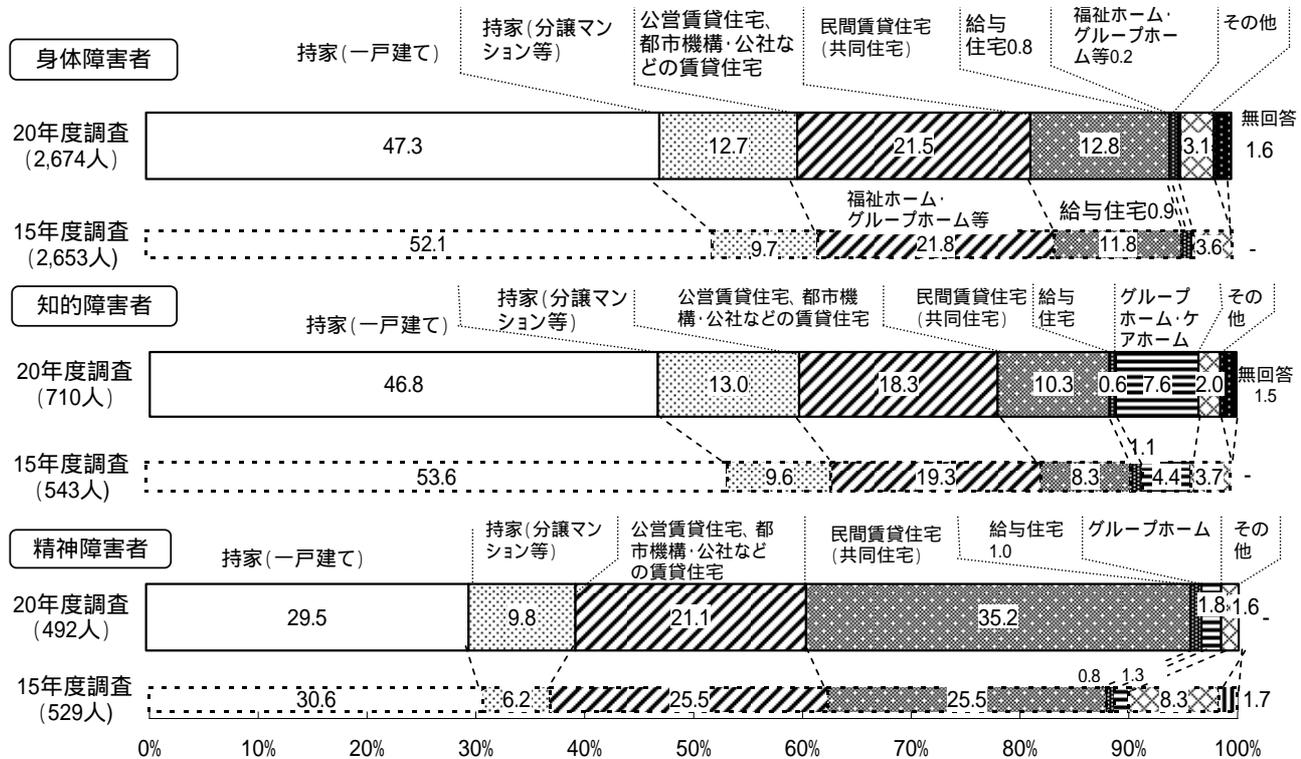
図 -1-2 年齢階級



2 住居の種類

在宅で生活している人に住居の種類を聞いたところ、「持家」の割合は、身体障害者では 60.1%、知的障害者では 59.7%と約 6 割であるが、精神障害者では 39.2%と約 4 割である。知的障害者の「グループホーム・ケアホーム」の割合は 7.6%で、前回調査に比べて 3.2 ポイント上昇している。(図 -2-1 本文 208p)

図 -2-1 住居の種類

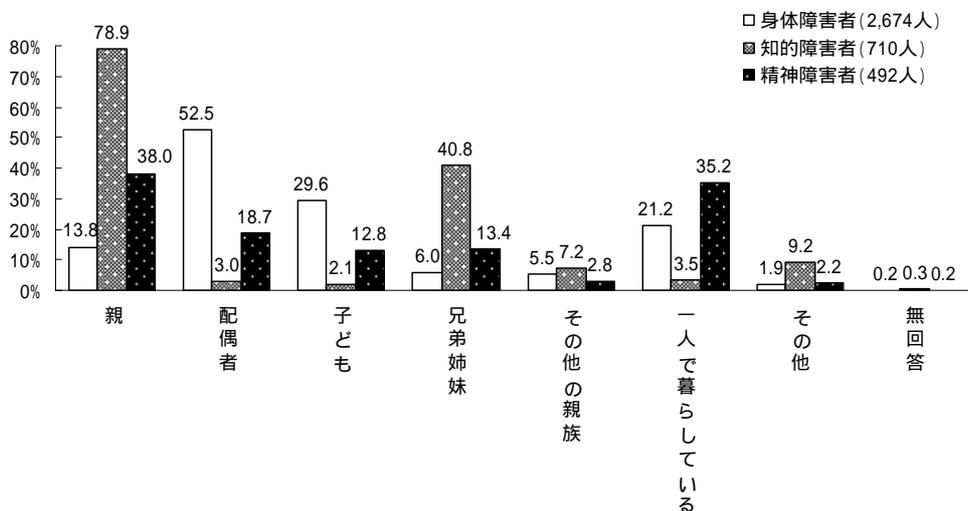


(注)住居の種類については、所有、賃貸の名義が障害者本人と限定していない。そのため、家族等の名義になっている場合も含まれており、調査結果と所有者、賃貸の名義人とは必ずしも一致しない。

3 一緒に生活している人〔複数回答〕

在宅で生活している人に、現在一緒に生活している人を聞いたところ、身体障害者は「配偶者」の割合が最も高く 52.5%、知的障害者は「親」の割合が最も高く 78.9%と 8 割近くとなっている。精神障害者も「親」の割合が 38.0%と最も高いが、「一人で暮らしている」の割合も 35.2%と高くなっている。(図 -3-1 本文 209p)

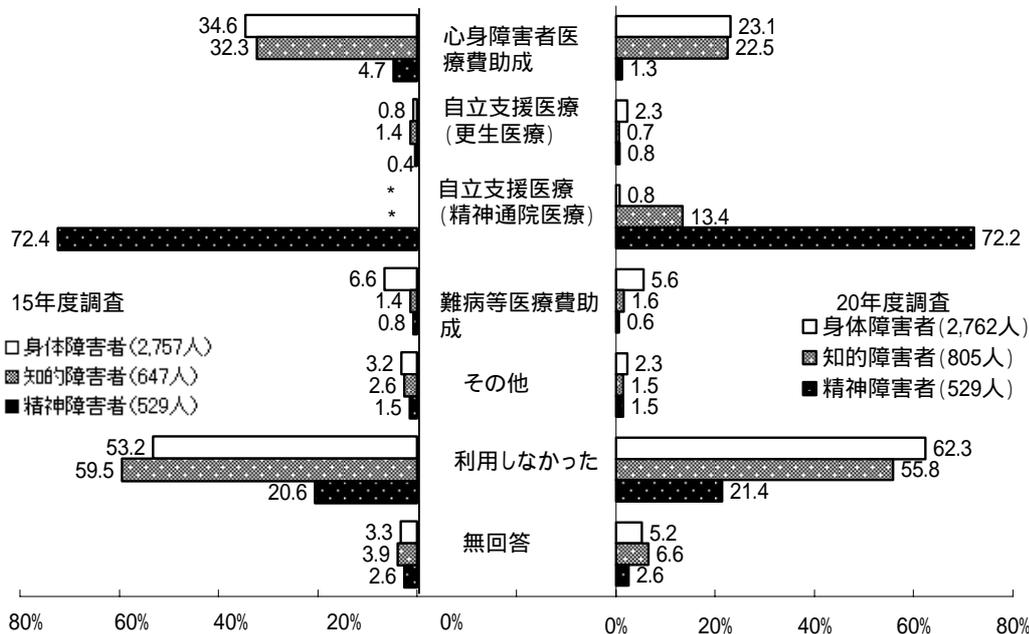
図 -3-1 一緒に生活している人〔複数回答〕



4 医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕

過去 1 年間に医療費助成等を利用したか聞いたところ、「心身障害者医療費助成」を利用した人は身体障害者 23.1%、知的障害者 22.5%と、それぞれ 2 割以上となっている。精神障害者は、「自立支援医療(精神通院医療)」を利用した人の割合が 72.2%と 7 割を超えている。(図 -5-4 本文 212p)

図 -5-4 医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕

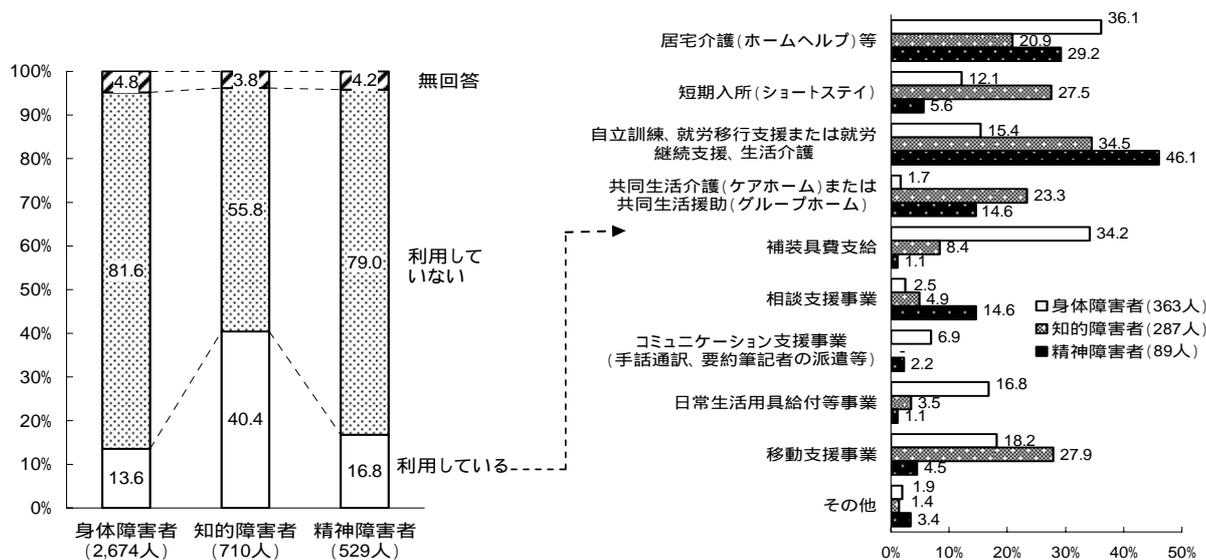


(注)・*は前回調査時、選択肢がなかったもの。・「利用しなかった」には医療費助成等対象外の人も含む。

5 障害者自立支援法による障害福祉サービス等

精神障害者及び在宅で生活している身体障害者、知的障害者に、過去 1 年間の障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用状況について聞いたところ、利用した人の割合は、知的障害者は 40.4%と 4 割を超えていたのに対し、身体障害者と精神障害者はそれぞれ 13.6%、16.8%と 1 割台であった。利用した内容で最も割合が高かったのは、身体障害者では「居宅介護(ホームヘルプ)等」で 36.1%、知的障害者と精神障害者は「自立訓練、就労移行支援または就労継続支援、生活介護」で、それぞれ 34.5%、46.1%となっている。(図 -7-1 本文 218p)

図 -7-1 障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用状況〔複数回答〕

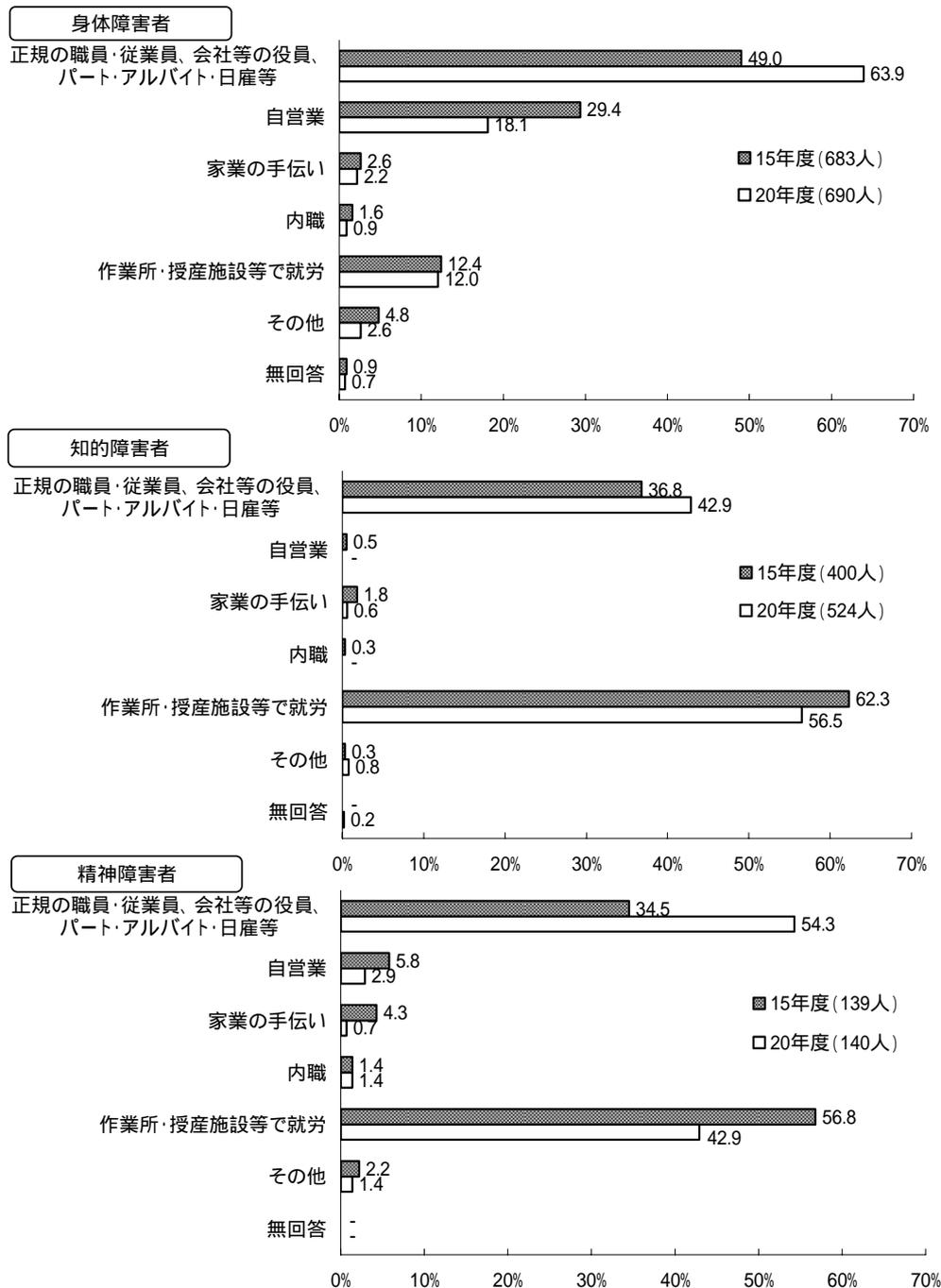


(注)「居宅介護等」には重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む。

6 仕事の種類〔複数回答〕

仕事の種類をみると、身体障害者と精神障害者では一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）の割合が高く（身体障害者 63.9%、精神障害者 54.3%）、知的障害者では「作業所・授産施設等で就労」が 56.5%と高くなっている。前回調査（15 年度調査）と比較して、知的障害者では、「作業所・授産施設等で就労」の割合が 5.8 ポイント下がる一方、一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）が 6.1 ポイント上昇した。精神障害者では、「作業所・授産施設等で就労」の割合が 13.9 ポイント下がり、一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）が 19.8 ポイント上昇した。3 障害ともに一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）の割合が上昇している。（図 -6-2 本文 214p）

図 -6-2 仕事の種類〔複数回答〕

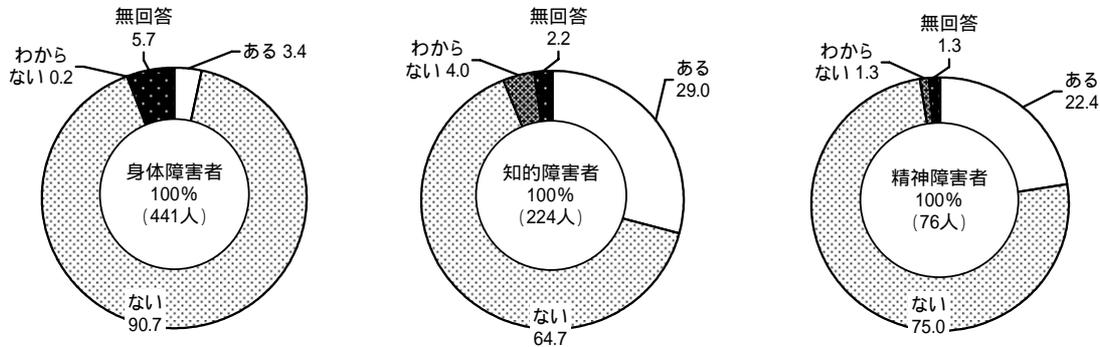


(注)20 年度調査の「パート・アルバイト・日雇等」は、契約職員、派遣職員等を含む。

7 作業所、授産施設等の利用経験

現在仕事をしている人で、仕事の種類が「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」の人に、これまでに「作業所、授産施設等」を利用したことがあるか聞いたところ、利用したことが「ある」と答えた割合は、身体障害者では3.4%、知的障害者では29.0%、精神障害者では22.4%であり、いわゆる「福祉的就労」から「一般就労」に移行したことが伺える。(図 -6-3 本文 215p)

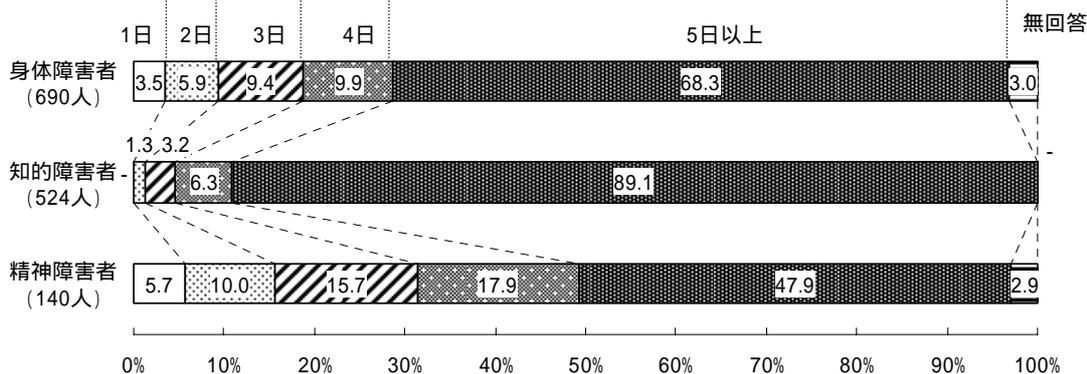
図 -6-3 作業所、授産施設等の利用経験



8 1週間の就労日数

仕事をしている人に1週間の就労日数を聞いたところ、3障害とも「5日以上」の割合が最も高かったが、身体障害者は68.3%、知的障害者が89.1%であるのに対し、精神障害者では47.9%と半数に満たなかった。(図 -6-4 本文 215p)

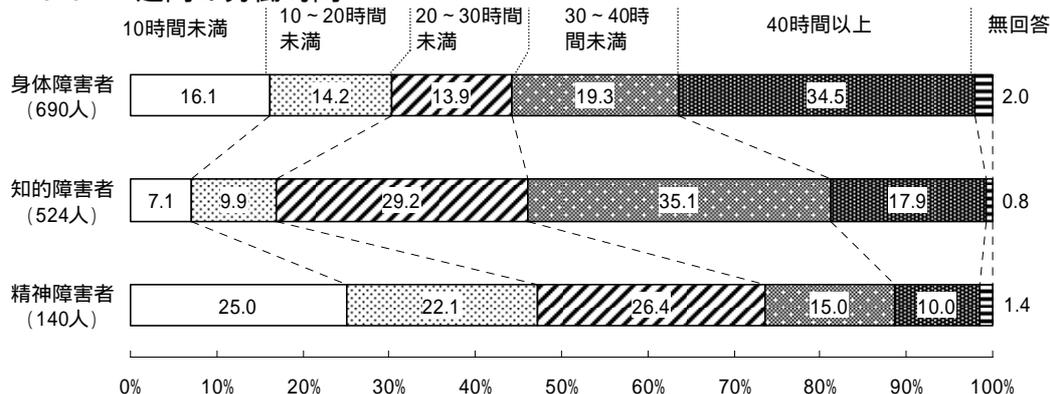
図 -6-4 1週間の就労日数



9 1週間の労働時間

仕事をしている人に1週間の労働時間を聞いたところ、身体障害者は「40時間以上」の割合が34.5%、知的障害者は「30～40時間未満」が35.1%、精神障害者は「20～30時間未満」が26.4%と最も高くなっている。30時間以上の人割合は身体障害者では53.8%、知的障害者では53.1%と半数を超えているが、精神障害者は25.0%となっている。(図 -6-5 本文 216p)

図 -6-5 1週間の労働時間



身体障害者 2,762 人(回答者)の状況

報告書「第 2 章 身体障害者の状況(19p ~ 94p)」からの主な結果の抜粋

1 就労の状況

(1) 収入を伴う仕事の有無(調査基準日現在) - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別

「^{しごと}仕事をしている(^{ふくしきぎょうじょ}福祉作業所などを ^{ふく}含む)」人は ^{ひと}59歳以下では 49.4%

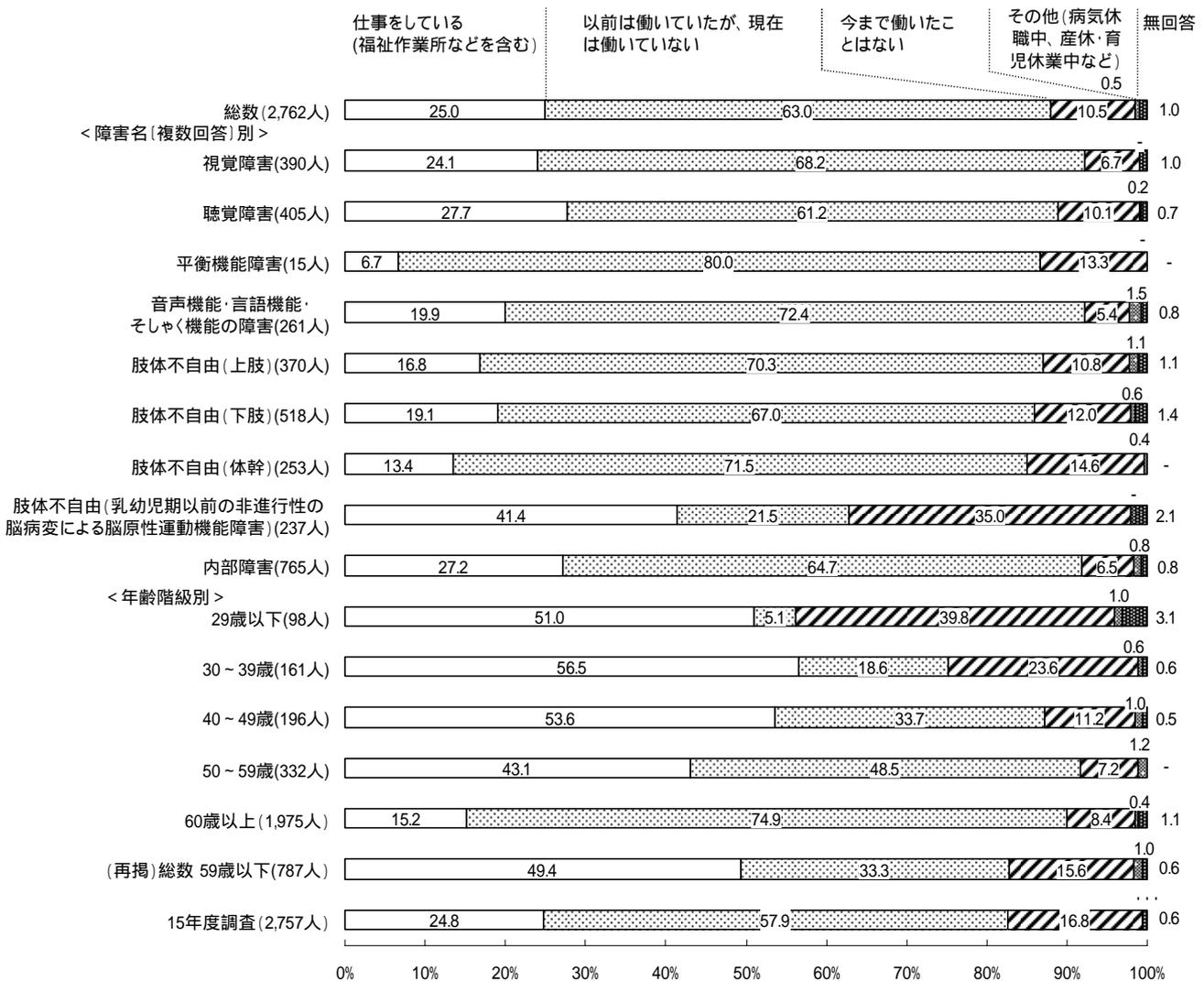
収入を伴う仕事の有無は「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合が 25.0%、「以前は働いていたが現在は働いていない」が 63.0%、「今まで働いたことはない」は 10.5%であった。障害名別にみると、肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)では、「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合(41.4%)と「今まで働いたことはない」割合(35.0%)が他の障害よりも高くなっている。

年齢階級別にみると「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合は、59歳以下で 49.4%と 5割近い。

(図 - 5 - 1 本文 44p)

問 あなたは平成20年10月15日(調査基準日)現在、収入を伴う仕事をしていますか。

図 -5-1 収入を伴う仕事の有無 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別



(注) 前回調査(15年度調査)では「その他(病気休職中、産休、育児休業中など)」の選択肢は設けていない。

(2) 仕事の種類〔複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別

調査基準日現在、「仕事をしている(福祉作業所など含む)」と回答した 690 人が対象

前回調査よりも一般就労(正規の職員、アルバイト等)の割合が 14.9 ポイント上昇

仕事の種類を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が 29.3%、「会社等の役員」が 5.7%、「パート・アルバイト・日雇等」が 29.0%で、これらを合わせた一般就労の割合は 63.9%であった。前回調査(15年度調査)の「正規の職員・従業員」と「パート・アルバイト・日雇等」を合わせた一般就労の割合(49.0%)よりも 14.9 ポイント上昇した。一方、「作業所・授産施設等で就労」の割合は 12.0%で、前回調査(15年度調査)(12.4%)よりも 0.4 ポイント減少した。

障害名別にみると一般就労(「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合は、聴覚障害の割合が 74.1%と最も高く、「作業所・授産施設等で就労」は肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)の割合が 51.0%と最も高い。(表 -5-1 本文 45p)

問 仕事の種類は何ですか。

表 -5-1 仕事の種類〔複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別

		総数	員正・規 従の職 業員	員会 社等 の役 員	職遣 員等 を含む (契約 職員)	日ル 雇等 パート ・ア ルバ イ ト	自 営 業	い家 業の 手伝	内 職	就産 業所 等 で授 産	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (690)	29.3	5.7	29.0		18.1	2.2	0.9	12.0	2.6	0.7
			63.9									
身体 障害 者手 帳の 障害 名 (複 数回 答)別	視覚障害	100.0 (94)	29.8	8.5	26.6		28.7	-	-	4.3	4.3	-
	聴覚障害	100.0 (112)	39.3	3.6	31.3		8.9	1.8	1.8	8.9	4.5	-
			74.1									
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (52)	25.0	7.7	38.5		15.4	-	1.9	11.5	-	-
	肢体不自由(上肢)	100.0 (62)	27.4	8.1	30.6		11.3	-	1.6	21.0	-	-
	肢体不自由(下肢)	100.0 (99)	29.3	3.0	28.3		16.2	4.0	1.0	15.2	2.0	1.0
	肢体不自由(体幹)	100.0 (34)	20.6	11.8	14.7		17.6	5.9	2.9	20.6	2.9	2.9
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (98)	25.5	-	16.3		3.1	-	1.0	51.0	2.0	1.0
内部障害	100.0 (208)	26.0	7.2	31.3		26.4	3.4	1.0	2.4	1.9	1.0	
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (50)	32.0	2.0	32.0		-	-	-	34.0	2.0	-
	30～39歳	100.0 (91)	50.5	1.1	17.6		5.5	2.2	-	20.9	-	2.2
	40～49歳	100.0 (105)	48.6	-	21.0		5.7	-	-	22.9	1.9	-
	50～59歳	100.0 (143)	34.3	6.3	31.5		16.1	2.8	-	7.0	2.1	-
	60歳以上	100.0 (301)	13.2	9.3	33.6		30.2	3.0	2.0	4.3	4.0	1.0
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (201)	8.0	10.4	33.3		32.3	3.5	2.5	4.5	5.0	1.0
15年度調査		100.0 (683)	34.4	...	14.6		29.4	2.6	1.6	12.4	4.8	0.9
			49.0									

(注)・前回調査(15年度調査)では「会社等の役員」は「正規の職員・従業員」に含めて聞いている。

・本文中のパート・アルバイト・日雇等には派遣職員・契約職員を含む。

(3) 1週間の労働時間 - 障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別

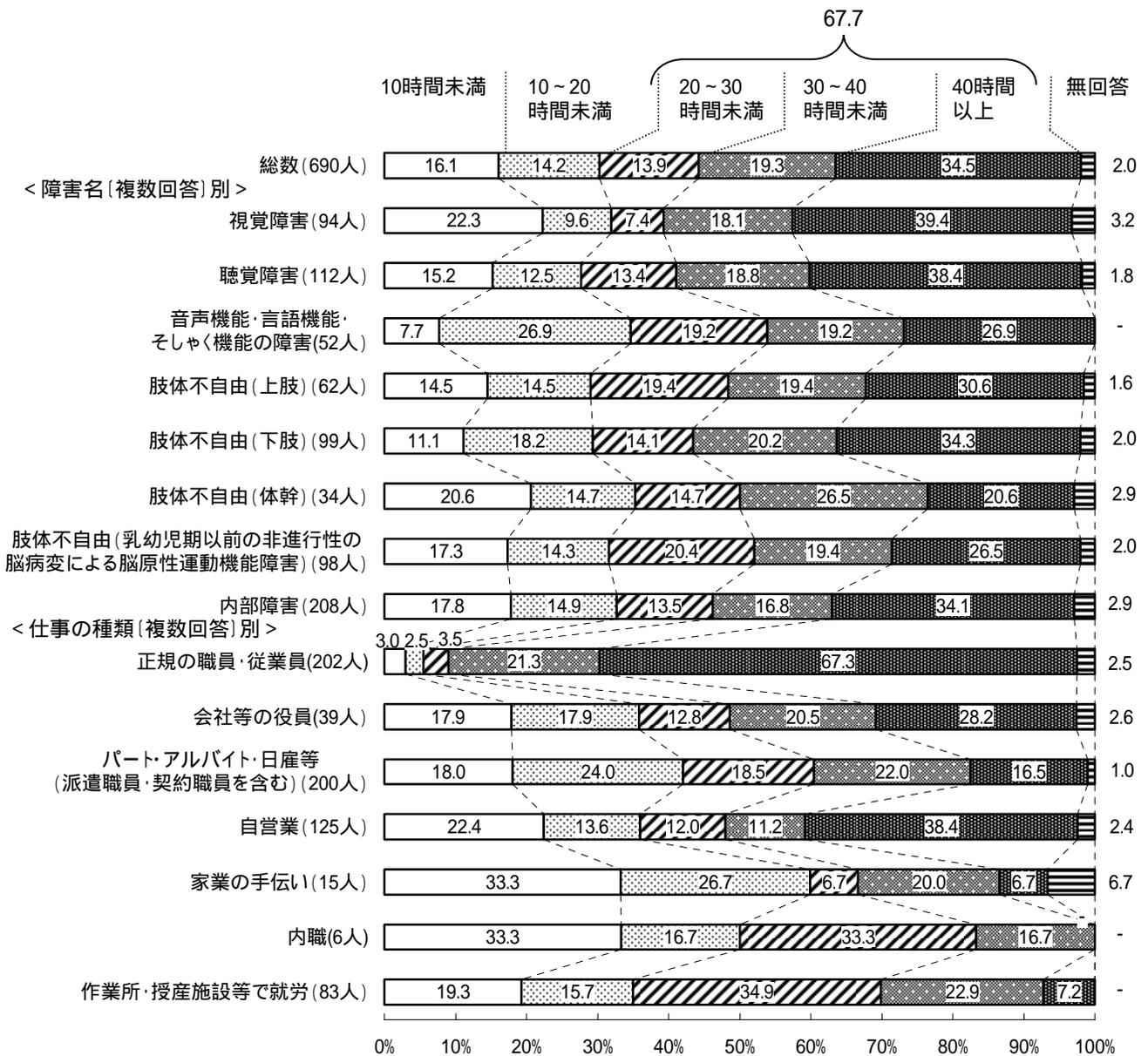
調査基準日現在、「仕事をしている(福祉作業所など含む)」と回答した690人が対象

1週間に20時間以上労働している人の割合は67.7%で、作業所・授産施設等では「20～30時間未満」の割合が最も高い

1週間の労働時間をみると「40時間以上」の割合が最も高く34.5%、次いで「30～40時間未満」が19.3%であった。「20時間以上」労働している割合は67.7%となっている。障害名別にみると、「40時間以上」の割合が高いのは、視覚障害(39.4%)、聴覚障害(38.4%)で4割弱である。仕事の種類別にみると、作業所・授産施設で就労している人は「20～30時間未満」の割合が34.9%と最も高い。(図 -5-3 本文47p)

問 1週間の労働時間はどのくらいですか。

図 -5-3 1週間の労働時間 - 障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別



(4) 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

- 身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別
 仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等(契約職員、派遣職員を含む)である441人が対象

仕事をしていく上で困ることは、総数では「定期的な通院や健康管理との両立」の割合が最も高いが、障害の種類によって困ることが異なる

仕事をしていく上で「困ることがある」と答えた割合は55.3%、「困ることは特にない」が43.5%であった。困ることの内容は、「定期的な通院や健康管理との両立」の割合が12.2%と最も高い。

障害名別にみると、視覚障害では「通勤時の混雑」(21.3%)の割合が他の障害よりも高く、音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害では「言いたいことを伝える手段・方法がない」(29.7%)や「言いたいことの内容が相手に通じない」(45.9%)の割合が他の障害よりも高くなっている。また、肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)では「人間関係(職場内でのいじめなど)」(19.5%)、内部障害では「定期的な通院や健康管理との両立」(22.4%)の割合がそれぞれ他の障害よりも高いのが目立つ。

仕事の種類別にみると「困ることがある」の割合は正規の職員・従業員で高く62.9%であった。(表-5-3 本文52p)

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表 -5-3 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

- 身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別

	総数	困ることがある	困る内容												困ることは特にない	無回答
			仕事の内容	人間関係(職場内)	なえい	言いた	言が相	言が不	職場の物理的	勤務時間・日数	通勤距離・時間	通勤時の混雑	定期的な通院や健康管理との両立	立育児・介護との両		
総数	100.0 (441)	55.3	9.5	10.4	6.1	10.4	6.6	7.3	7.5	10.4	12.2	1.4	13.2	43.5	1.1	
身体障害者手帳の障害名(複数回答)別	視覚障害	100.0 (61)	62.3	11.5	9.8	1.6	3.3	16.4	1.6	3.3	21.3	9.8	1.6	18.0	34.4	3.3
	聴覚障害	100.0 (83)	60.2	15.7	14.5	12.0	19.3	7.2	6.0	7.2	3.6	3.6	2.4	18.1	38.6	1.2
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (37)	64.9	2.7	8.1	29.7	45.9	-	-	2.7	2.7	5.4	-	10.8	35.1	-
	肢体不自由(上肢)	100.0 (41)	41.5	14.6	7.3	-	2.4	4.9	-	2.4	7.3	2.4	2.4	14.6	58.5	-
	肢体不自由(下肢)	100.0 (60)	58.3	13.3	13.3	5.0	3.3	10.0	10.0	13.3	13.3	15.0	3.3	15.0	41.7	-
	肢体不自由(体幹)	100.0 (16)	68.8	18.8	6.3	-	6.3	12.5	-	12.5	12.5	12.5	6.3	18.8	31.3	-
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (41)	61.0	9.8	19.5	7.3	17.1	12.2	2.4	12.2	12.2	9.8	2.4	12.2	36.6	2.4
	内部障害	100.0 (134)	47.8	4.5	6.0	1.5	3.7	1.5	14.2	7.5	10.4	22.4	-	7.5	50.7	1.5
仕事の種類(複数回答)別	正規の職員・従業員	100.0 (202)	62.9	11.9	13.4	7.9	10.4	8.9	5.9	8.9	15.3	17.8	2.0	10.9	34.7	2.5
	会社等の役員	100.0 (39)	46.2	7.7	2.6	-	12.8	7.7	2.6	-	5.1	12.8	-	17.9	53.8	-
	パート・アルバイト・日雇等(派遣職員・契約職員を含む)	100.0 (200)	49.5	7.5	9.0	5.5	10.0	4.0	9.5	7.5	6.5	6.5	1.0	14.5	50.5	-

2 経済基盤

(1) 収入の種類〔3つまでの複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が最も高く76.5%

平成19年中の収入の種類を聞いたところ、「年金・恩給」の割合が最も高く76.5%、次いで「手当」22.8%、「賃金・給料」19.6%、「生活保護費」7.0%となっている。

年齢階級別にみると、「生活保護費」の割合は、40代は9.2%、50代では13.3%と総数(7.0%)よりも高いが目立つ。(表 -6-1 本文 59p)

問 平成19年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。

表 -6-1 収入の種類〔3つまでの複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕別

		総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	金保険金・補償	賃作業所等の工	その他の収入	た収入はなかつ	無回答
総数		100.0 (2,762)	19.6	2.9	0.3	5.6	1.1	0.8	76.5	7.0	22.8	0.3	0.4	2.2	3.0	3.5	1.0
身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害	100.0 (390)	18.7	3.3	-	5.4	1.3	1.8	75.4	8.2	23.6	0.3	0.3	0.5	2.1	4.9	0.8
	聴覚障害	100.0 (405)	22.5	1.7	0.7	4.2	1.5	1.0	78.3	5.2	18.0	-	-	1.5	2.5	3.7	0.7
	平衡機能障害	100.0 (15)	13.3	-	-	6.7	-	6.7	80.0	6.7	13.3	-	-	-	-	-	-
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	16.1	3.1	-	5.0	0.8	1.5	72.8	9.2	20.7	1.5	1.9	2.3	5.4	2.7	1.1
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	12.7	1.9	0.5	5.4	0.8	1.1	75.7	9.2	23.0	-	0.5	3.2	3.0	4.3	3.0
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	15.1	1.5	0.4	7.7	1.2	1.0	76.1	8.3	21.2	-	0.4	2.5	1.9	4.8	1.7
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	9.5	0.8	0.4	5.1	0.8	1.2	84.6	5.9	32.0	-	-	2.8	1.6	2.4	0.8
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	21.9	0.8	0.4	1.3	-	1.3	77.6	5.5	54.0	-	0.4	15.2	1.7	3.0	1.3
	内部障害	100.0 (765)	22.5	4.7	0.4	6.3	1.3	0.3	76.7	6.4	19.0	0.5	0.3	0.7	3.9	2.5	0.4
年齢階級別	29歳以下	100.0 (98)	36.7	-	-	-	-	1.0	65.3	1.0	46.9	1.0	1.0	11.2	1.0	6.1	3.1
	30～39歳	100.0 (161)	42.2	1.9	-	0.6	0.6	1.2	65.2	2.5	44.7	-	-	9.3	1.9	3.7	1.2
	40～49歳	100.0 (196)	46.9	-	0.5	1.5	0.5	-	46.9	9.2	37.8	1.0	0.5	9.2	1.5	8.7	1.5
	50～59歳	100.0 (332)	37.3	3.9	-	2.7	1.5	1.2	43.7	13.3	28.9	0.6	0.6	2.1	4.8	7.2	0.6
	60～69歳	100.0 (651)	22.7	4.0	0.8	4.5	0.9	0.6	74.7	8.9	23.8	0.5	0.5	0.9	3.1	3.4	1.1
	70～79歳	100.0 (876)	6.8	3.4	0.3	7.9	0.9	0.6	90.8	5.8	14.6	0.1	0.5	0.5	3.4	2.2	0.8
	80歳以上	100.0 (448)	2.7	1.8	-	9.6	2.0	1.1	94.9	3.6	12.9	-	-	0.2	2.2	0.9	1.1
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (1,693)	8.0	2.7	0.5	7.8	1.2	0.7	90.6	5.6	15.7	0.1	0.3	0.4	3.0	1.9	0.9
15年度調査	100.0 (2,757)	18.7	6.1	0.7	6.0	0.9	1.1	74.5	6.4	31.5	0.4	0.4	...	2.0	3.6	0.7	

(注) 前回調査(15年度調査)では「作業所等の工賃」は「賃金・給料」に含めて聞いている。

(2) 平成19年中の収入額(生活保護費を除く) - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別

年収は「50万円～100万円未満」の割合が最も高い

平成19年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が最も高く20.5%、次いで「100～150万円未満」が15.8%である。(表 -6-2 本文 63p)

問 あなたの平成19年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や福祉作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

表 -6-2 平成19年中の収入額(生活保護費を除く) - 障害名〔複数回答〕・年齢階級別

	総数	収入なし	50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～250万円未満	250万円～300万円未満	300万円～350万円未満	350万円～400万円未満	400万円～450万円未満	450万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円以上	無回答
総数	100.0 (2,762)	6.8	9.1	20.5	15.8	10.8	9.9	7.1	6.8	3.1	2.0	1.3	3.1	3.8		
身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害	100.0 (390)	9.5	10.8	23.6	15.6	7.7	8.7	5.9	5.6	2.8	1.8	1.5	2.8	3.6	
	聴覚障害	100.0 (405)	6.2	7.2	20.2	19.8	9.9	9.4	6.9	9.6	2.2	1.7	1.7	1.7	3.5	
	平衡機能障害	100.0 (15)	6.7	6.7	26.7	-	6.7	33.3	6.7	6.7	-	-	-	-	6.7	
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	8.4	5.4	19.2	11.5	14.9	10.7	8.0	8.4	2.3	1.9	1.1	5.4	2.7	
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	8.6	11.4	23.0	12.4	10.8	7.8	7.8	5.7	2.4	1.4	0.8	2.2	5.7	
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	8.3	11.6	22.6	15.4	11.2	8.3	6.4	4.6	2.3	2.1	0.2	3.1	3.9	
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	5.9	8.7	23.7	15.8	11.9	13.0	6.3	5.1	2.4	1.2	1.6	0.8	3.6	
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	3.4	8.0	24.5	23.6	13.9	10.5	3.8	4.6	1.3	0.8	0.4	0.8	4.2	
	内部障害	100.0 (765)	5.4	9.3	16.7	13.7	9.7	11.0	9.4	8.0	4.8	2.7	1.7	4.0	3.5	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (98)	9.2	8.2	27.6	19.4	15.3	9.2	5.1	2.0	1.0	-	-	-	3.1	
	30～39歳	100.0 (161)	4.3	3.7	18.6	17.4	16.8	8.7	6.2	8.1	6.8	3.1	2.5	0.6	3.1	
	40～49歳	100.0 (196)	10.7	8.2	18.9	14.3	7.7	7.1	6.1	6.6	4.6	5.1	3.1	4.1	3.6	
	50～59歳	100.0 (332)	13.9	11.1	17.8	13.3	8.1	8.4	3.9	5.7	3.3	3.3	1.5	6.0	3.6	
	60～69歳	100.0 (651)	8.4	10.1	20.3	16.9	9.2	9.7	7.2	5.7	3.2	1.4	1.1	3.4	3.4	
	70～79歳	100.0 (876)	4.3	8.8	22.9	14.4	11.8	12.4	7.6	6.3	2.9	1.4	0.9	2.7	3.7	
	80歳以上	100.0 (448)	2.7	8.9	17.9	18.1	11.4	8.0	9.2	10.9	1.8	1.8	1.1	2.6	5.6	
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (1,693)	4.3	8.6	21.4	16.4	11.2	11.2	8.3	7.0	2.5	1.4	0.9	2.7	4.1	
15年度調査	100.0 (2,757)	5.8	11.0	20.2	14.5	9.6	9.2	6.3	8.5	3.0	2.5	1.4	3.4	4.6		

3 社会参加

(1) 現在利用している通所施設に対する不満〔複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別

平日の日中主に通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている170人が対象

現在利用している施設に対する不満の内容は「工賃が少ない」の割合が最も高い

平日の日中主に通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている人で、現在利用している施設に「不満がある」と答えた割合は37.1%、「不満はない」は56.5%であった。不満の内容は、「工賃が少ない」の割合が11.8%で最も高く、年齢階級別でみると40代で「工賃が少ない」と答えた割合が30.8%と高くなっている。(表 -7-2 本文 65p)

問 あなたは、現在利用している施設に対して不満はありますか。

表 -7-2 現在利用している通所施設に対する不満〔複数回答〕

- 障害名〔複数回答〕、年齢階級別

	総数	不満がある	自由がない	言えないことが	情報やコミュニケーションがとれない	不満がある接し方に	職員の利用者に	外の人の交流	通所者・職員以外の人との交流	訓練や作業にや	工賃が少ない	医療的ケアが足	その他	不満はない	無回答
総数	100.0 (170)	37.1	1.2	5.9	2.9	10.0	1.8	2.4	11.8	6.5	10.0	56.5	6.5		
身体障害者手帳の障害名 (複数回答別)	視覚障害 (8)	100.0	37.5	-	-	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	62.5	-	
	聴覚障害 (18)	100.0	22.2	5.6	5.6	-	5.6	-	-	11.1	-	5.6	77.8	-	
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 (11)	100.0	45.5	9.1	18.2	-	9.1	18.2	-	-	9.1	9.1	36.4	18.2	
	肢体不自由(上肢) (30)	100.0	50.0	-	6.7	3.3	6.7	6.7	3.3	16.7	10.0	20.0	43.3	6.7	
	肢体不自由(下肢) (32)	100.0	43.8	-	3.1	-	9.4	-	3.1	15.6	12.5	18.8	50.0	6.3	
	肢体不自由(体幹) (28)	100.0	60.7	-	14.3	7.1	7.1	3.6	3.6	14.3	17.9	17.9	32.1	7.1	
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害) (90)	100.0	40.0	-	4.4	3.3	13.3	2.2	2.2	14.4	7.8	11.1	53.3	6.7	
	内部障害 (9)	100.0	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	88.9	-	
年齢階級別	29歳以下 (43)	100.0	32.6	-	4.7	4.7	7.0	-	2.3	4.7	4.7	11.6	60.5	7.0	
	30～39歳 (39)	100.0	51.3	-	2.6	5.1	15.4	-	2.6	17.9	7.7	12.8	38.5	10.3	
	40～49歳 (26)	100.0	38.5	-	3.8	-	19.2	3.8	-	30.8	7.7	7.7	53.8	7.7	
	50～59歳 (14)	100.0	42.9	7.1	14.3	-	7.1	7.1	7.1	14.3	-	7.1	57.1	-	
	60～69歳 (10)	100.0	40.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	10.0	20.0	50.0	10.0	
	70～79歳 (20)	100.0	35.0	5.0	15.0	5.0	5.0	5.0	-	-	5.0	10.0	65.0	-	
	80歳以上 (18)	100.0	11.1	-	-	-	-	-	5.6	-	5.6	-	83.3	5.6	
	(再掲)総数 65歳以上 (42)	100.0	23.8	2.4	7.1	2.4	2.4	2.4	2.4	-	7.1	4.8	71.4	4.8	

(2) 社会参加をする上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

- 障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

「電車やバスなどを使つての移動が不便」「道路や駅などの利用が不便」の割合は前回調査よりも減少

社会参加をする上で妨げになっていることを聞いたところ、「電車やバスなどを使つての移動が不便」(21.5%)、「道路や駅などの利用が不便」(20.5%)の割合が高くなっている。

平日の日中主に過ごしたところ別にみると、通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている人は「利用する建物の設備が整備されていない」の割合が21.8%で総数(7.8%)よりも高いのが目立つ。

前回調査(15年度調査)と比べると「道路や駅などの利用が不便」の割合は5.7ポイント減少、「電車やバスなどを使つての移動が不便」も2.6ポイント減少した。(表 -7-4 本文 67p)

問 あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。

表 -7-4 社会参加する上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

- 障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	道路や駅などの利用が不便	移動が不便	電車やバスなどを使つての	利用している建物の設備が整備されていない	点字版が古い、破損等により利用が不便	介助者がいない	情報がない	の問い合わせができない	FAX番号やメールアドレスなどの連絡方法の整備がされない	理解不足	周りの人の障害者に対する	障害を理由に施設等の利用を拒否される	適切な指導者がいない	一緒に行く仲間がいない	障害者の参加を想定していないため、通訳、字幕、点字など配慮がされていない	その他	特にな	無回答
総数	100.0 (2,762)	20.5	21.5	7.8	0.3	7.9	5.0	1.8	10.9	0.9	1.6	6.3	2.6	12.7	41.8	5.0			
身体障害者手帳の障害名(複数回答)別	視覚障害	100.0 (390)	29.7	30.0	6.9	1.5	10.8	5.1	2.3	13.3	2.1	3.3	6.7	4.1	13.6	31.0	4.9		
	聴覚障害	100.0 (405)	10.1	11.6	3.5	-	4.7	9.4	4.9	17.3	0.7	1.2	8.6	10.4	11.9	45.4	4.0		
	平衡機能障害	100.0 (15)	20.0	26.7	-	-	13.3	-	6.7	13.3	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	33.3	6.7		
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	11.1	14.6	4.6	-	7.7	5.7	4.2	14.6	1.9	2.3	8.8	5.0	14.6	39.5	5.7		
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	27.8	29.7	12.2	0.3	14.1	4.6	0.5	7.6	0.8	0.8	7.6	1.1	14.9	33.5	5.9		
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	32.8	32.2	12.4	-	9.1	5.0	0.8	8.5	0.4	1.5	5.8	1.0	12.9	33.6	3.9		
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	31.2	30.8	11.1	-	12.6	2.0	0.4	7.9	0.8	0.8	3.6	0.4	18.6	28.9	7.1		
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	29.5	30.8	19.8	-	18.6	4.2	1.3	18.1	2.1	3.0	9.3	0.8	9.7	27.0	3.8		
	内部障害	100.0 (765)	12.4	12.7	3.5	-	3.3	3.8	0.8	7.1	0.4	1.2	4.7	0.4	12.7	55.8	5.5		
平日の日中主に過ごしたところ別	自分の家	100.0 (2,004)	21.8	23.2	7.1	0.3	8.1	5.1	1.7	10.5	0.7	1.5	6.8	2.4	12.4	41.4	4.5		
	職場	100.0 (400)	15.3	15.5	6.3	0.3	2.0	6.0	3.0	16.3	1.3	0.8	3.5	4.3	9.5	51.5	4.5		
	学校	100.0 (8)	12.5	-	12.5	-	25.0	12.5	-	-	-	12.5	12.5	-	-	62.5	-		
	通所施設(作業所、デイケア等を含む)	100.0 (170)	27.6	27.1	21.8	-	18.2	2.9	1.8	9.4	1.2	2.4	7.6	1.8	11.2	28.2	5.3		
	入所施設	100.0 (86)	12.8	15.1	3.5	-	14.0	2.3	-	5.8	2.3	1.2	1.2	2.3	30.2	36.0	7.0		
	その他	100.0 (74)	12.2	6.8	9.5	-	2.7	1.4	1.4	5.4	2.7	4.1	2.7	1.4	23.0	43.2	6.8		
15年度調査	100.0 (2,757)	26.2	24.1	8.6	...	8.4	6.9	2.2	14.8	1.0	3.7	7.7	4.6	6.2	44.4	1.8			

(注) 前回調査(15年度調査)では「点字版が古い、破損等により利用が不便」の選択肢は設けていない。

4 情報の入手やコミュニケーションの手段

(1) 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること(視覚障害者)[2つまでの複数回答] 視覚障害者 390人が対象

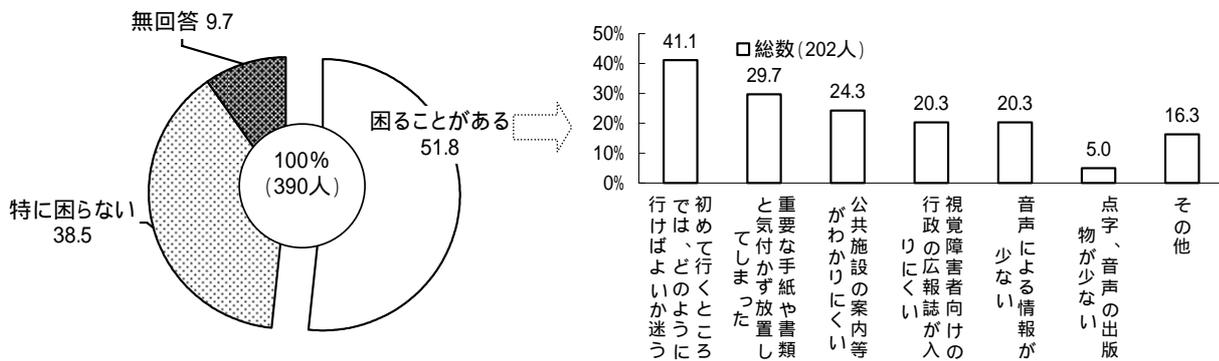
視覚障害者が情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることは、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ「困ることがある」と答えた割合は51.8%と半数以上の人困ることがあると回答した。

困る内容で最も割合が高かったのは、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」で41.1%であった。(図 -8-2 本文 70p)

問 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

図 -8-2 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること(視覚障害者)



(2) 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること(聴覚障害者)[2つまでの複数回答] 聴覚障害者 405人が対象

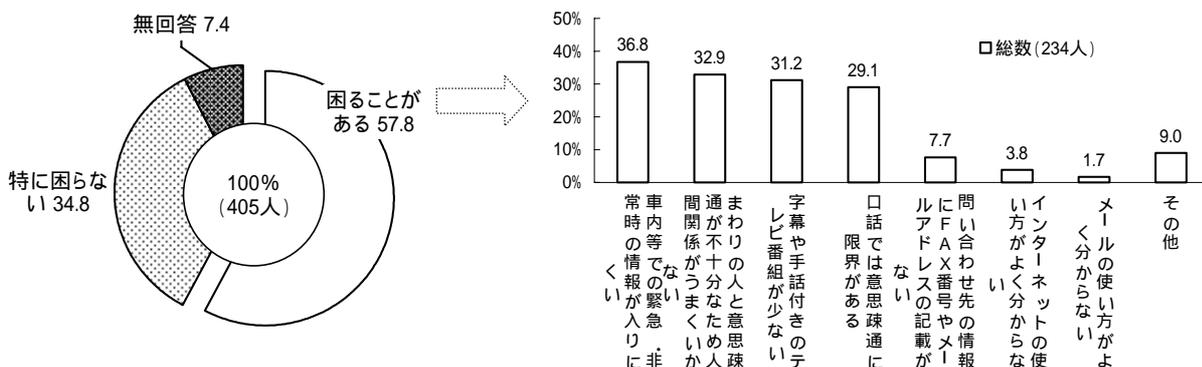
聴覚障害者が情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることは、「車内等での緊急・非常時の情報が入りにくい」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ「困ることがある」と答えた割合は57.8%と半数以上の人困ることがあると回答した。

困る内容で最も割合が高かったのは、「車内等での緊急・非常時の情報が入りにくい」で36.8%であった。(図 -8-4 本文 72p)

問 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

図 -8-4 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること(聴覚障害者)



知的障害者 805 人（回答者）の状況

報告書の「第 3 章 知的障害者の状況(95p～148p)」からの主な結果の抜粋

1 就労の状況

(1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在） - 年齢階級、愛の手帳の程度別

「^{しごと}仕事をしている(^{ふくしきぎょうしょ}福祉作業所などを含む)」人の割合は前回調査よりも 3.3 ポイント上 昇し、65.1%

調査基準日現在に収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合は 65.1%、「以前は働いていたが現在は働いていない」が 12.7%、「今まで働いたことはない」は 21.9%であった。

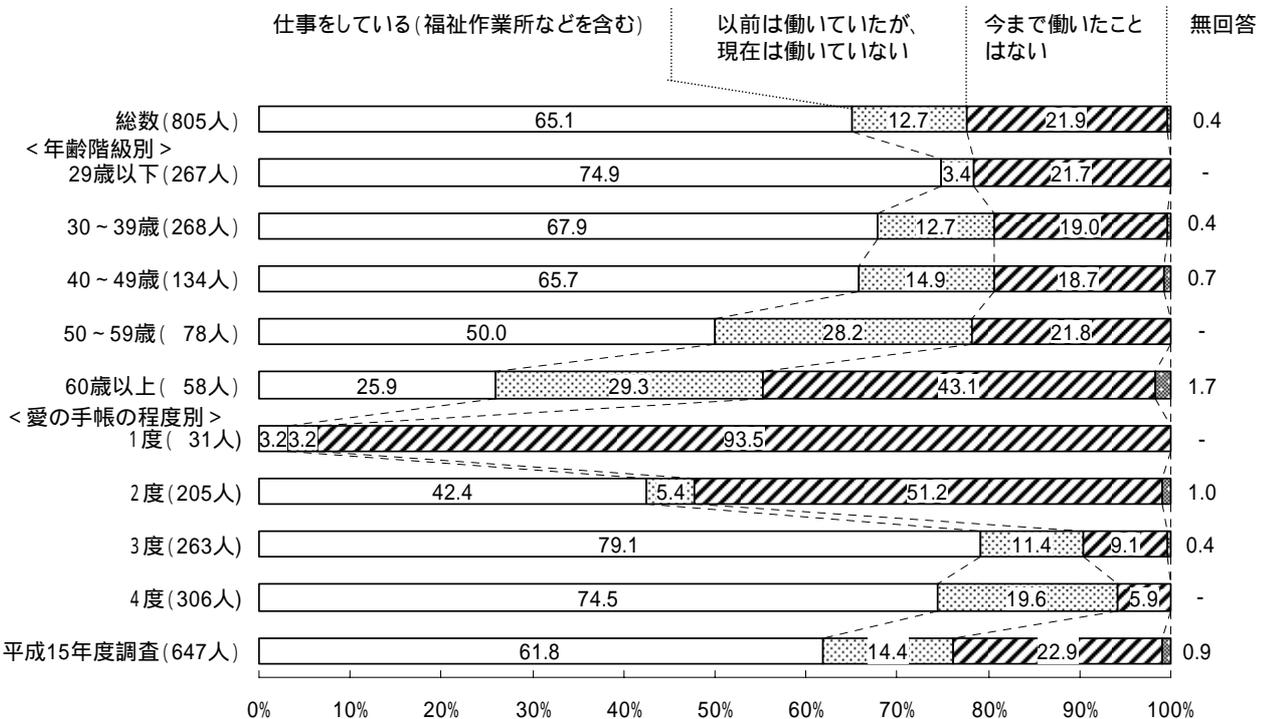
年齢階級別にみると「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合は、60 歳以上を除く年齢階級で 5 割を超えている。「今まで働いたことはない」の割合は、60 歳以上で最も高く 43.1%であった。

愛の手帳の程度別にみても、3 度及び 4 度では、「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合が 7 割を超えているが、1 度では、「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合は 3.2%で、「今まで働いたことはない」割合が、93.5%となっている。

前回調査(15 年度調査)と比べると、「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合は 3.3 ポイント上昇した。(図 -5-1 107p)

問 あなたは平成20年10月15日（調査基準日）現在、^{しゅうにゅう}収入を伴う仕事をしていませんか。

図 -5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在） - 年齢階級、愛の手帳の程度別



(注)・その他(病気休職中、産休・育児休業中など)は該当者がいなかったため省略した。

・前回調査(15 年度調査)では「その他(病気休職中、産休・育児休業中など)」の選択肢は設けていない。

(2) 仕事の種類〔複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度別

調査基準日現在「仕事をしている(福祉作業所など含む)」と回答した人 524 人が対象

前回調査よりも一般就労(正規の職員、アルバイト等)の割合が6.1ポイント上昇

仕事の種類を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が15.6%、「パート・アルバイト・日雇等」が27.3%で、これらを合わせた一般就労の割合は42.9%であった。前回調査(15年度調査)の一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」の割合(36.8%))と比べると6.1ポイント上昇した。

一方、「作業所・授産施設等で就労」の割合は56.5%で前回調査(15年度調査)(62.3%)よりも5.8ポイント減少した。

年齢階級別にみると、一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合は、20代で46.2%と最も高い。

愛の手帳の程度別にみると、一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合は4度で67.1%と最も高く、「作業所・授産施設等で就労」は2度で92.0%、3度で68.3%と高くなっている。(表 -5-1 本文 108p)

問 仕事の種類は何ですか。

表 -5-1 仕事の種類〔複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	従業員 正規の職員	約(派遣職員を含む) パート・アルバイト・日雇等	自営業	家業の手伝い	内職	施設等 作業所で 授産	その他	無回答
総数		100.0 (524)	15.6	27.3	-	0.6	-	56.5	0.8	0.2
			42.9							
年齢階級別	19歳以下	100.0 (27)	3.7	37.0	-	-	-	59.3	-	-
	20～29歳	100.0 (173)	13.3	32.9	-	-	-	53.8	0.6	-
				46.2						
	30～39歳	100.0 (182)	19.2	23.6	-	0.5	-	57.1	1.1	-
	40～49歳	100.0 (88)	18.2	20.5	-	2.3	-	58.0	-	1.1
	50～59歳	100.0 (39)	12.8	28.2	-	-	-	59.0	-	-
60歳以上	100.0 (15)	13.3	26.7	-	-	-	60.0	6.7	-	
愛の手帳の程度別	2度	100.0 (87)	-	8.0	-	-	-	92.0	1.1	-
	3度	100.0 (208)	12.5	18.8	-	-	-	68.3	0.5	0.5
	4度	100.0 (228)	24.6	42.5	-	1.3	-	32.0	0.9	-
			67.1							
平成15年度調査		100.0 (400)	21.5	15.3	0.5	1.8	0.3	62.3	0.3	-
			36.8							

(注) ・本文中のパート・アルバイト・日雇等には派遣職員・契約職員を含む。

・表側の愛の手帳の程度が1度は、母集団が1人のため省略した。

・表頭の「会社等の役員」は該当者がいなかったため省略した。

(3) 1週間の労働時間 - 愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

調査基準日現在「仕事をしている(福祉作業所など含む)」と回答した人 524 人が対象

1週間に20時間以上労働している人の割合は82.2%で、作業所・授産施設等では「20～30時間未満」の割合が最も高い。

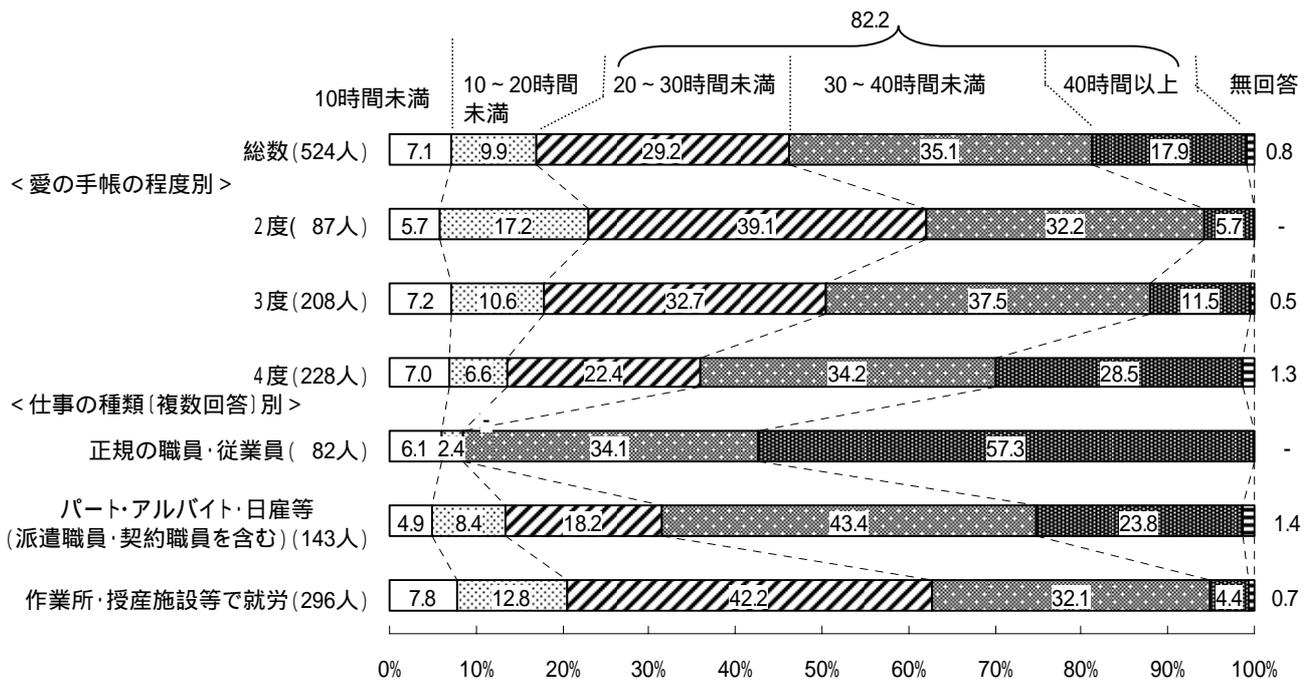
1週間の労働時間をみると「30～40時間未満」の割合が最も高く35.1%、次いで「20～30時間未満」が29.2%であった。20時間以上労働している人の割合は、82.2%と8割を超えている。

愛の手帳の程度別にみると、「30～40時間未満」の割合が高いのは、3度(37.5%)、4度(34.2%)となっている。

仕事の種類別にみると、作業所・授産施設等で就労している人では「20～30時間未満」の割合が42.2%で最も高い。(図 -5-3 本文 110p)

問 1週間の労働時間はどのくらいですか。

図 -5-3 1週間の労働時間 - 愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別



(注)・愛の手帳の程度が1度については、母集団が1人のため省略した。

・仕事の種類が家業の手伝いは、母集団が3人のため省略した。

(4) 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

- 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等(契約職員、派遣職員を含む)の仕事をしている224人が対象

仕事をしていく上で困ることは「人間関係(職場内でのいじめなど)」で25.9%

仕事をしていく上で困ることは「人間関係(職場内でのいじめなど)(25.9%)」及び「言いたいことの内容が相手に通じない(22.8%)」が2割を超えている。

年齢階級別にみると、「人間関係(職場内でのいじめなど)」の割合は、29歳以下(35.2%)で高くなっている。(表 -5-3 本文 113p)

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表 -5-3 仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕

- 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	困ることがある	仕事の内容	人間関係(職場内でのいじめなど)	言いたいことを伝える手段・方法がない	言いたいことの内容が相手に通じない	職場の物理的環境(バリアフリー化が不十分)	勤務時間・日数	通勤距離・時間	通勤時の混雑	定期的な通院や健康管理との両立	育児・介護との両立	その他	困ることは特にない	無回答	
総数	100.0 (224)	54.5	8.0	25.9	12.9	22.8	0.4	4.5	7.1	4.5	4.5	0.4	5.8	41.5	4.0	
年齢階級別	29歳以下 (91)	100.0	62.6	13.2	35.2	16.5	27.5	0.0	3.3	9.9	4.4	4.4	0.0	5.5	36.3	1.1
	30～39歳 (77)	100.0	51.9	3.9	18.2	10.4	24.7	1.3	6.5	2.6	5.2	6.5	1.3	6.5	39.0	9.1
	40～49歳 (34)	100.0	47.1	5.9	26.5	14.7	11.8	-	2.9	8.8	2.9	2.9	-	2.9	50.0	2.9
	50歳以上 (22)	100.0	40.9	4.5	13.6	4.5	13.6	-	4.5	9.1	4.5	-	-	9.1	59.1	-
愛の手帳の程度別	2度 (7)	100.0	42.9	28.6	-	28.6	28.6	-	-	-	-	-	-	14.3	42.9	14.3
	3度 (65)	100.0	50.8	3.1	26.2	15.4	27.7	-	3.1	6.2	1.5	3.1	-	1.5	46.2	3.1
	4度 (152)	100.0	56.6	9.2	27.0	11.2	20.4	0.7	5.3	7.9	5.9	5.3	0.7	7.2	39.5	3.9
回答者別	本人が回答 (138)	100.0	52.2	7.2	25.4	11.6	20.3	0.0	5.8	8.7	6.5	3.6	-	8.0	45.7	2.2
	本人以外が回答 (64)	100.0	60.9	6.3	29.7	18.8	26.6	1.6	3.1	4.7	-	4.7	-	3.1	31.3	7.8

(注) 愛の手帳の程度が1度については、母集団が1人のため省略した。

2 経済基盤

(1) 収入の種類〔3つ以内の複数回答〕 - 愛の手帳の程度別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が最も高く69.1%

平成19年中の収入の種類を聞いたところ、「年金・恩給」の割合が最も高く69.1%、次いで「手当」38.3%、「作業所等の工賃」29.9%、「賃金・給料」29.6%となっている。

「賃金・給料」と「作業所等の工賃」を合わせた割合は59.5%で前回調査(15年度調査)と比べると、5.4ポイント増加した。(表 -6-1 本文 121p)

問 平成19年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。

表 -6-1 収入の種類 - 愛の手帳の程度別

	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答
総数	100.0 (805)	29.6	0.1	-	1.0	0.1	2.0	0.1	69.1	2.7	38.3	0.2	0.4	29.9	2.0	4.3	0.6
		59.5															
1度	100.0 (31)	-	3.2		-	-	6.5	-	80.6	-	45.2	-	-	3.2	3.2	9.7	3.2
2度	100.0 (205)	4.9	-		-	-	1.0	0.5	80.0	2.0	50.2	-	0.5	30.2	1.5	4.9	-
3度	100.0 (263)	28.1	-		0.4	-	1.1	-	76.0	1.1	39.2	-	0.8	43.7	1.9	3.4	0.4
4度	100.0 (306)	50.3	-		2.3	0.3	2.9	-	54.6	4.9	28.8	0.7	-	20.6	2.3	4.2	1.0
15年度調査	100.0 (529)	54.1	0.2	0.5	0.8	0.2	0.5	-	62.0	3.4	38.2	0.2	-	...	3.2	6.3	1.1

(注) 前回調査(15年度調査)では「作業所の工賃」は「賃金・給料」に含めて聞いている。

(2) 平成19年中の収入額(生活保護費を除く) - 年齢階級、愛の手帳の程度別

年収は「50～100万円未満」の割合が最も高い

平成19年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が最も高く32.8%、次いで「100～150万円未満」が26.0%である。(表 -6-2 本文 124p)

問 あなたの平成19年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や福祉作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

表 -6-2 平成19年中の収入額(生活保護費を除く) - 年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	収入なし	50万円未満	50万円未満	100万円未満	100万円未満	200万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	500万円未満	無回答
総数		100.0 (805)	4.5	11.1	32.8	26.0	12.0	5.2	2.2	1.6	0.1	-	-	4.5
年齢階級別	19歳以下	100.0 (37)	37.8	27.0	13.5	13.5	2.7	-	2.7	2.7	-	-	-	-
	20～29歳	100.0 (230)	2.6	13.5	30.9	24.3	14.3	7.8	2.2	1.3	-	-	-	3.0
	30～39歳	100.0 (268)	2.6	8.6	32.1	26.9	16.0	6.0	2.2	1.9	-	-	-	3.7
	40～49歳	100.0 (134)	3.0	9.7	36.6	32.1	9.0	3.0	0.7	1.5	-	-	-	4.5
	50～59歳	100.0 (78)	2.6	14.1	37.2	21.8	6.4	3.8	3.8	2.6	-	-	-	7.7
	60歳以上	100.0 (58)	5.2	1.7	41.4	27.6	5.2	1.7	3.4	-	1.7	-	-	12.1
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	9.7	-	45.2	25.8	6.5	3.2	3.2	-	-	-	-	6.5
	2度	100.0 (205)	4.4	7.3	39.0	26.8	11.7	5.9	0.5	-	-	-	-	4.4
	3度	100.0 (263)	3.4	15.2	34.6	26.2	9.1	3.4	1.5	1.9	-	-	-	4.6
	4度	100.0 (306)	4.9	11.1	25.8	25.2	15.4	6.5	3.9	2.6	0.3	-	-	4.2
平成15年度調査		100.0 (647)	6.3	14.2	32.8	26.3	8.7	4.3	0.5	0.2	0.2	-	0.2	6.5

3 社会参加

現在利用している通所施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕

- 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

平日の日中主に通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている340人が対象

現在利用している施設に対する不満の内容は「^{げんざいりよう}工賃が^{すく}少ない」の割合が最も高い

平日の日中主に通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている人で、現在利用している施設に「不満がある」と答えた割合は43.2%、「不満はない」は52.4%であった。

不満の内容は「工賃が少ない」の割合が20.3%と高く、愛の手帳の程度別にみると「工賃が少ない」の人では4度で29.7%と高くなっている。(表 -7-1 本文 126p)

問 あなたは、^{げんざいりよう}現在利用している施設^{しせつ}に対して^{たい}不満^{ふまん}はありますか。

表 -7-1 現在利用している通所施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕

- 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	不満がある	自由がない	い言いたいことが言えない	シ情報やコミュニケーションがとれない	接職員の利用者に不満がある	と通所の交流がない	が訓練や作業にやりがいがない	工賃が少ない	医療的ケアが足りない	送迎の体制が不十分	その他	不満はない	無回答	
総数	100.0 (340)	43.2	1.8	5.0	4.1	5.9	7.6	2.6	20.3	4.7	3.8	11.8	52.4	4.4	
年齢階級別	19歳以下 (19)	100.0	26.3	-	-	-	-	-	15.8	10.5	10.5	10.5	68.4	5.3	
	20～29歳 (108)	100.0	52.8	1.9	6.5	3.7	7.4	13.9	3.7	24.1	4.6	3.7	15.7	1.9	
	30～39歳 (126)	100.0	44.4	2.4	6.3	5.6	6.3	7.1	2.4	18.3	4.8	4.0	11.1	49.2	6.3
	40～49歳 (58)	100.0	36.2	1.7	3.4	5.2	5.2	3.4	-	20.7	3.4	3.4	8.6	58.6	5.2
	50歳以上 (29)	100.0	27.6	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	6.9	17.2	3.4	0.0	6.9	69.0	3.4
愛の手帳の程度別	1度 (11)	100.0	54.5	-	9.1	-	-	9.1	-	-	18.2	-	36.4	45.5	-
	2度 (135)	100.0	45.9	0.7	5.2	3.7	5.9	10.4	3.7	12.6	6.7	5.9	15.6	46.7	7.4
	3度 (130)	100.0	37.7	1.5	1.5	3.1	6.2	5.4	1.5	25.4	3.8	3.1	7.7	60.8	1.5
	4度 (64)	100.0	46.9	4.7	10.9	7.8	6.3	6.3	3.1	29.7	-	1.6	7.8	48.4	4.7
回答者別	本人が回答 (93)	100.0	40.9	3.2	9.7	5.4	7.5	6.5	1.1	21.5	3.2	2.2	8.6	55.9	3.2
	本人が以外が回答 (222)	100.0	41.9	0.9	3.2	4.1	5.4	6.3	2.3	16.7	5.4	5.0	13.1	53.2	5.0

回答者別について、不明は除いた。

4 情報の入手やコミュニケーションの手段

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

- 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

情報入手やコミュニケーションをとる上で困ることは「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ「困ることがある」と答えた割合は55.8%と半数以上の方が困ることがあると回答した。

「困ることがある」理由では、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」(27.1%)、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」(25.1%)の割合が高い。

回答者別にみると「困ることがある」の割合は、本人が回答(47.5%)よりも本人以外が回答(60.2%)の割合の方が12.7ポイント高くなっている。(表 -8-2 本文 132p)

問 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

表 -8-2 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

- 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	困ることがある	わ	公	よ	は	初	係	が	ま	使	イ	い	メ	そ	特に困らない	無回答
			か	共	い	め	が	わ	ン	使	ー	の	他				
総数	100.0 (805)	55.8	9.2	25.1	27.1	6.0	2.9	11.1	36.6	7.6							
年齢階級別	19歳以下 (37)	100.0	64.9	10.8	29.7	37.8	2.7	8.1	10.8	29.7	5.4						
	20～29歳 (230)	100.0	56.1	8.3	26.1	26.5	7.8	2.2	9.6	37.0	7.0						
	30～39歳 (268)	100.0	58.2	9.7	23.1	27.6	5.2	1.9	14.2	34.0	7.8						
	40～49歳 (134)	100.0	53.0	9.0	27.6	28.4	6.7	3.0	7.5	35.8	11.2						
	50～59歳 (78)	100.0	59.0	10.3	25.6	25.6	5.1	5.1	14.1	37.2	3.8						
	60歳以上 (58)	100.0	39.7	8.6	20.7	19.0	3.4	3.4	6.9	53.4	6.9						
愛の手帳の程度別	1度 (31)	100.0	58.1	-	6.5	19.4	3.2	-	35.5	25.8	16.1						
	2度 (205)	100.0	58.5	8.3	17.1	31.7	2.0	1.0	19.5	28.8	12.7						
	3度 (263)	100.0	60.8	12.2	31.2	31.2	3.8	3.8	8.0	33.5	5.7						
	4度 (306)	100.0	49.3	8.2	27.1	21.2	10.8	3.6	5.6	45.8	4.9						
回答者別	本人が回答 (320)	100.0	47.5	7.8	25.6	20.6	9.1	4.1	4.7	45.9	6.6						
	本人以外が回答 (427)	100.0	60.2	9.8	22.7	31.1	3.5	1.6	16.9	31.9	8.0						

(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

5 その他の福祉サービス等

地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

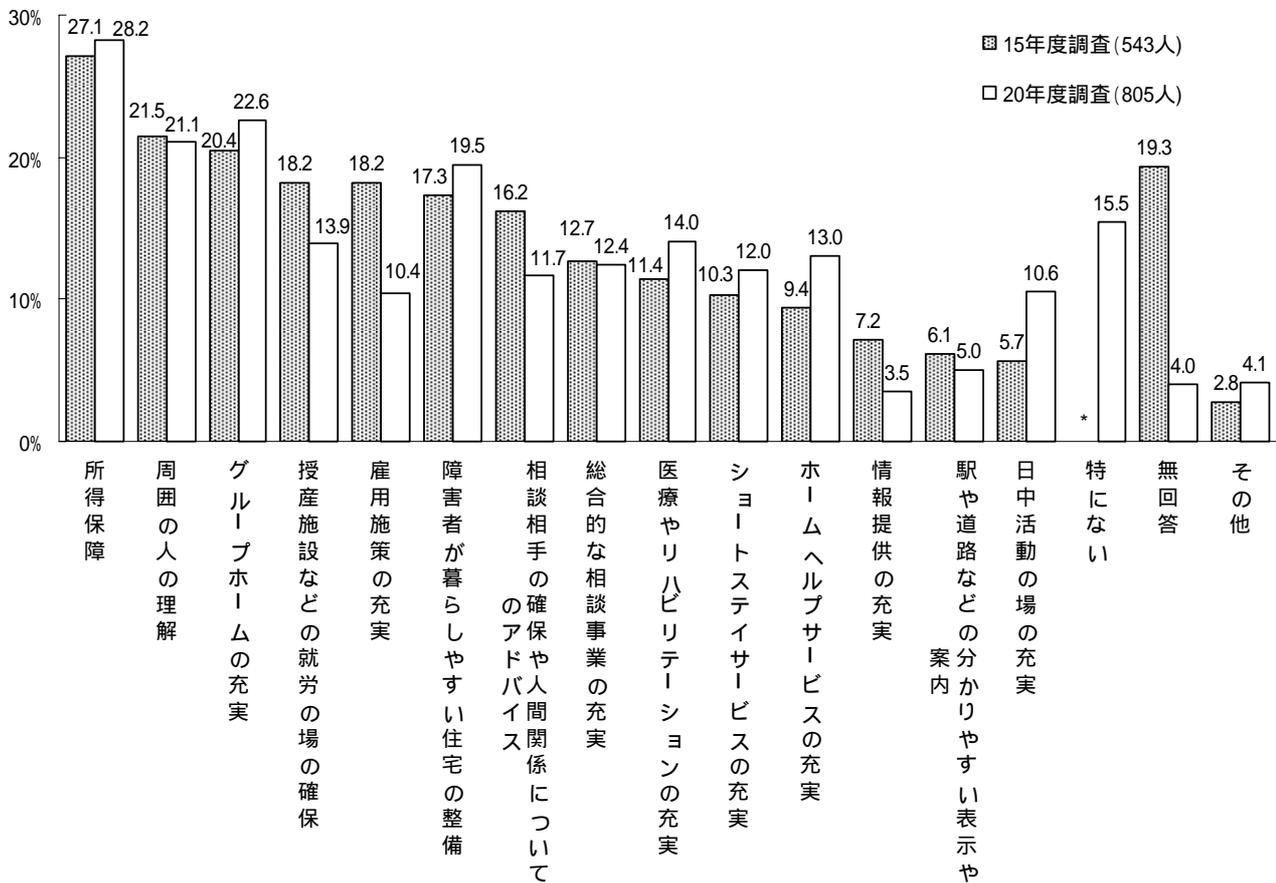
地域生活をする上で「グループホームの充実」が必要と答えた割合は、前回調査よりも2.2ポイント上昇し22.6%

地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何か聞いたところ「所得保障」の割合が28.2%と最も高く、次いで「グループホームの充実」が22.6%であった。

前回調査(15年度調査)との比較では、「グループホームの充実」の割合が2.2ポイント増加し22.6%、また、「雇用施策の充実」は7.8ポイント減少し10.4%となった。(図 -11-1 本文 146p)

問 あなたが、地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何ですか。

図 -11-1 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕



(注) *は前回調査時選択肢がなかったもの

精神障害者 529 人（回答者）の状況

報告書の「第 4 章 精神障害者の状況(149p～205p)」からの主な結果の抜粋

1 就労の状況

(1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在） - 年齢階級別

「^{しごと}仕事をしている（^{きょうどうさきょうしよ}共同作業所などを^{ふくむ}含む）」^{ひと}人の割合は、^{ぜんかいちようさ}前回調査よりも 0.2 ポイント^{じようじよう}上昇し 26.5%

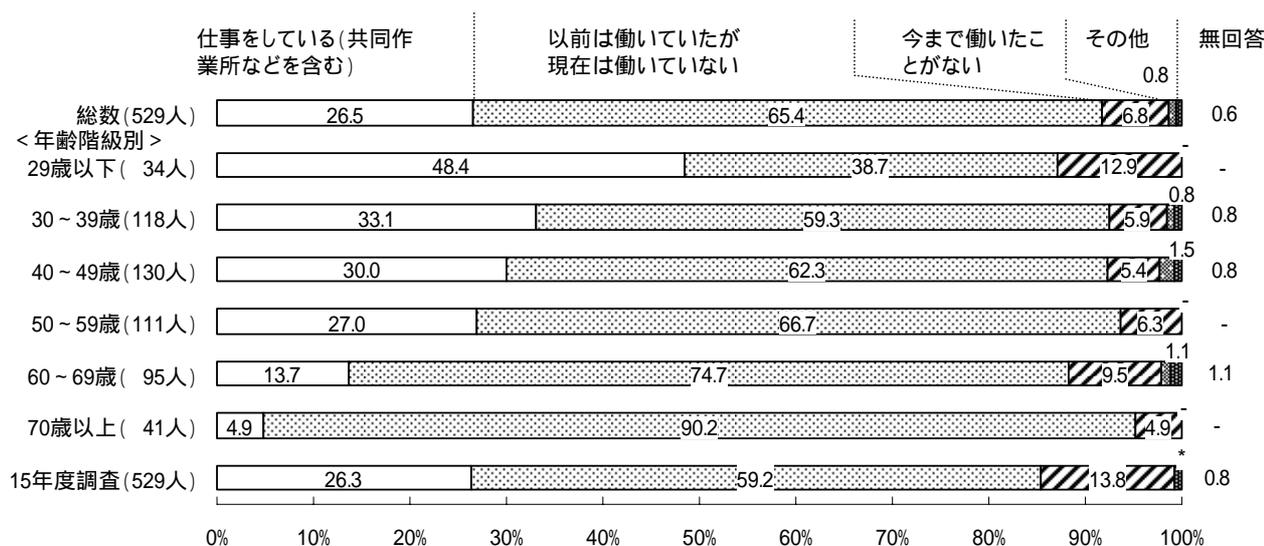
調査基準日現在に収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は 26.5%、「以前は働いていたが現在は働いていない」が 65.4%「今まで働いたことがない」は 6.8%であった。

年齢階級別にみると、「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は、全ての年齢階級において 5 割に満たない。

前回調査（15 年度調査）と比べて「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は 0.2 ポイント上昇した。（図 -5-1 本文 169p）

問 ^とあなたは^{へいせい}平成20年10月15日（^{ねん}調査基準日）^{にち}現在、^{ちようさきじゆんび}収入を伴う^{げんざい}仕事をして^{しゅうにゆう}いますか。^{ともな}

図 -5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在） - 年齢階級



(注) 前回調査(15 年度調査)では「その他(病気休職中、産休・育児休業中など)」の選択肢は設けていない。

(2) 仕事の種類〔複数回答〕 - 年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

仕事をしている 140 人が対象

前回調査よりも「一般就労(正規の職員、アルバイト等)」の割合が 19.8 ポイント上昇

仕事の種類を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が 11.4%、「パート・アルバイト・日雇等」が 42.9%で、これらを合わせた一般就労の割合は 54.3%であった。前回調査(15 年度調査)の一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合(34.5%)と比べると 19.8 ポイント上昇した。

一方、「作業所・授産施設等で就労」の割合は 42.9%で前回調査(15 年度調査)(56.8%)よりも 13.9 ポイント減少した。

年齢階級別にみると、一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合は、29 歳以下で 76.5%と高くなっている。(表 -5-1 本文 171p)

問 仕事の種類は何ですか。

表 -5-1 仕事の種類〔複数回答〕 - 年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

		総数	業正 員規 の職 員・従	約 (派 遣 職 員 を 含 む)	イ パ ー ト ・ 日 雇 等	自 営 業	家 業 の 手 伝 い	内 職	設 作 等 所 で 就 ・ 授 産 施	そ の 他
総数		100.0 (140)	11.4	42.9	54.3	2.9	0.7	1.4	42.9	1.4
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (17)	5.9	70.6	76.5	-	5.9	-	23.5	-
	30～39歳	100.0 (39)	10.3	41.0	51.3	5.1	-	2.6	41.0	-
	40～49歳	100.0 (39)	20.5	30.8	51.3	-	-	2.6	48.7	-
	50～59歳	100.0 (30)	10.0	50.0	60.0	-	-	-	43.3	-
	60歳以上	100.0 (15)	-	33.3	33.3	13.3	-	-	53.3	13.3
(再掲)総数 65歳以上		100.0 (8)	-	25.0	25.0	-	-	-	62.5	12.5
障 害 の 等 級 別	1級	100.0 (6)	16.7	16.7	33.4	-	16.7	-	50.0	-
	2級	100.0 (72)	5.6	30.6	36.2	1.4	-	2.8	59.7	2.8
	3級	100.0 (62)	17.7	59.7	77.4	4.8	-	-	22.6	-
15年度調査		100.0 (139)	11.5	23.0	34.5	5.8	4.3	1.4	56.8	2.2

(注)・本文中のパート・アルバイト・日雇等には派遣職員・契約職員を含む。

・表頭の「会社等の役員」は該当者がいなかったため省略した。

(3) 1週間の労働時間 - 仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

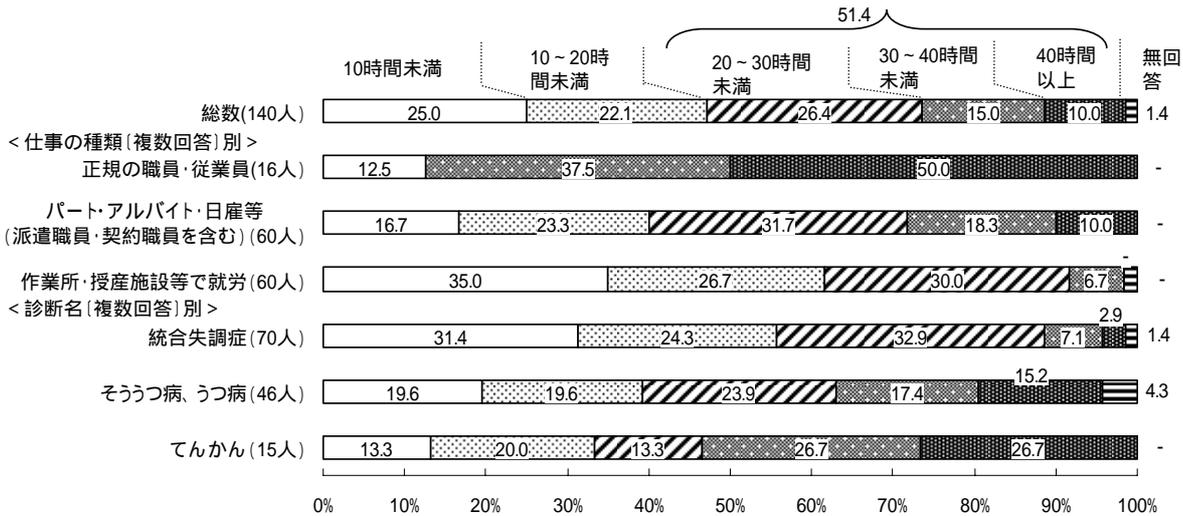
仕事をしている140人が対象

1週間に20時間以上労働している人の割合は51.4%で、作業所・授産施設等では「10時間未満」の割合が最も高い

1週間の労働時間は20時間以上の割合が51.4%となっている。仕事の種類別にみると作業所・授産施設等で就労の割合は「10時間未満」の割合が35.0%と最も高い。(図 -5-4 本文 173p)

問 1週間の労働時間はどのくらいですか。

図 -5-4 1週間の労働時間 - 仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別



(4) 仕事をしていく上で困ること〔複数回答〕 - 性別

仕事をしている人(共同作業所など含む)の内、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等(契約職員、派遣職員を含む)の76人が対象

仕事をしていく上で困ることは、男性は「定期的な通院や健康管理との両立」、女性では「人間関係(職場内でのいじめなど)」の割合が最も高い

仕事をしていく上で「困ることがある」と答えた割合は76.3%、「困ることは特にない」は18.4%であった。性別でみると、男性では「定期的な通院や健康管理との両立」の割合が26.1%で最も高く、女性では「人間関係(職場内でのいじめなど)」の割合が46.7%と最も高い。(表 -5-3 本文 176p)

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表 -5-3 仕事をしていく上で困ること〔複数回答〕 - 性別

	総数	困ることがある	困る理由												困ることは特にない	無回答
			仕事の内容	人間関係(職場内でのいじめなど)	法言がなる手い段・ことを	伝言がなる手い段・ことを	言言がなる手い段・ことを	内容が相い手い段・ことを	分け(化)が物理的的環	職場の物理的的環	勤務時間・日数	通勤距離・時間	通勤時の混雑	立健康定期的な通院の両や		
総数	100.0 (76)	76.3	11.8	27.6	11.8	19.7	3.9	11.8	5.3	6.6	23.7	3.9	10.5	18.4	5.3	
男	100.0 (46)	73.9	4.3	15.2	4.3	17.4	2.2	13.0	6.5	8.7	26.1	-	15.2	17.4	8.7	
女	100.0 (30)	80.0	23.3	46.7	23.3	23.3	6.7	10.0	3.3	3.3	20.0	10.0	3.3	20.0	-	

2 経済基盤

(1) 収入の種類〔3つまでの複数回答〕

- 年齢階級、年間収入額（生活保護費を除く）、診断名〔複数回答〕別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が52.9%、「生活保護費」が31.0%

平成19年中の収入の種類（複数回答）は、「年金・恩給」の割合が52.9%と最も高く、次いで「生活保護費」の割合が31.0%となっている。

「年金・恩給」の割合を年間収入額別にみると50～100万円未満で88.5%、診断名別にみると統合失調症で61.5%とそれぞれ高くなっている。（表 -6-1 本文182p）

問 平成19年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。

表 -6-1 収入の種類〔3つまでの複数回答〕

- 年齢階級、年間収入額（生活保護費を除く）、診断名〔複数回答〕別

	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答	
総数	100.0 (529)	17.2	0.8	0.2	1.1	1.1	2.6	0.6	52.9	31.0	9.1	0.9	0.4	8.5	6.0	8.9	1.7	
年齢階級別	29歳以下 (34)	100.0	35.3	-	-	-	2.9	2.9	2.9	35.3	8.8	20.6	-	11.8	14.7	17.6	2.9	
	30～39歳 (118)	100.0	22.9	1.7	-	-	-	5.1	-	45.8	22.9	7.6	1.7	11.0	3.4	11.0	0.8	
	40～49歳 (130)	100.0	19.2	-	-	1.5	0.8	3.1	0.8	44.6	36.9	12.3	0.8	10.0	5.4	12.3	1.5	
	50～59歳 (111)	100.0	18.0	0.9	0.9	0.9	1.8	0.9	0.9	45.9	35.1	6.3	1.8	0.9	8.1	7.2	8.1	2.7
	60歳以上 (136)	100.0	5.1	0.7	-	2.2	1.5	1.5	-	77.2	34.6	6.6	-	4.4	5.9	2.2	1.5	
	(再掲)総数 65歳以上 (87)	100.0	3.4	-	-	3.4	1.1	2.3	-	77.0	32.2	4.6	-	4.6	5.7	1.1	1.1	
(生活保護費を除く)年間収入額別	収入なし (103)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	59.2	1.9	-	-	-	-	40.8	-	
	50万円未満 (81)	100.0	18.5	1.2	1.2	1.2	-	8.6	1.2	34.6	28.4	13.6	1.2	18.5	16.0	1.2	-	
	50～100万円未満 (156)	100.0	9.6	-	-	0.6	1.3	0.6	-	88.5	20.5	8.3	0.6	10.9	5.8	-	-	
	100～150万円未満 (67)	100.0	31.3	-	-	-	-	-	1.5	80.6	29.9	13.4	1.5	6.0	6.0	-	-	
	150～200万円未満 (40)	100.0	25.0	2.5	-	5.0	2.5	5.0	-	75.0	25.0	20.0	2.5	12.5	5.0	-	-	
	200万円以上 (46)	100.0	56.5	4.3	-	4.3	6.5	8.7	-	50.0	6.5	6.5	2.2	2.2	6.5	4.3	2.2	
診断名(複数回答)別	アルコール・薬物依存症 (23)	100.0	21.7	-	-	-	-	4.3	-	30.4	52.2	4.3	-	-	4.3	17.4	-	
	統合失調症 (252)	100.0	13.9	0.4	0.4	0.8	0.8	1.2	0.4	61.5	36.1	7.5	-	12.3	5.2	6.0	2.0	
	そううつ病、うつ病 (171)	100.0	24.0	1.8	-	0.6	2.3	5.3	1.8	44.4	30.4	11.7	2.9	1.2	5.3	6.4	7.6	1.2
	人格障害 (15)	100.0	13.3	-	-	6.7	-	13.3	-	40.0	40.0	13.3	-	-	6.7	-	20.0	-
	てんかん (52)	100.0	23.1	-	-	1.9	-	-	1.9	59.6	25.0	11.5	-	-	9.6	1.9	13.5	-
	その他 (85)	100.0	15.3	1.2	-	3.5	-	3.5	1.2	52.9	21.2	15.3	1.2	-	4.7	9.4	8.2	1.2
15年度調査	100.0 (529)	21.2	1.1	1.5	2.5	0.9	3.4	0.2	52.6	25.7	9.1	0.4	-	...	4.2	13.6	2.5	

(注) 前回調査(15年度調査)では「作業所の工賃」は「賃金・給料」に含めて聞いている。

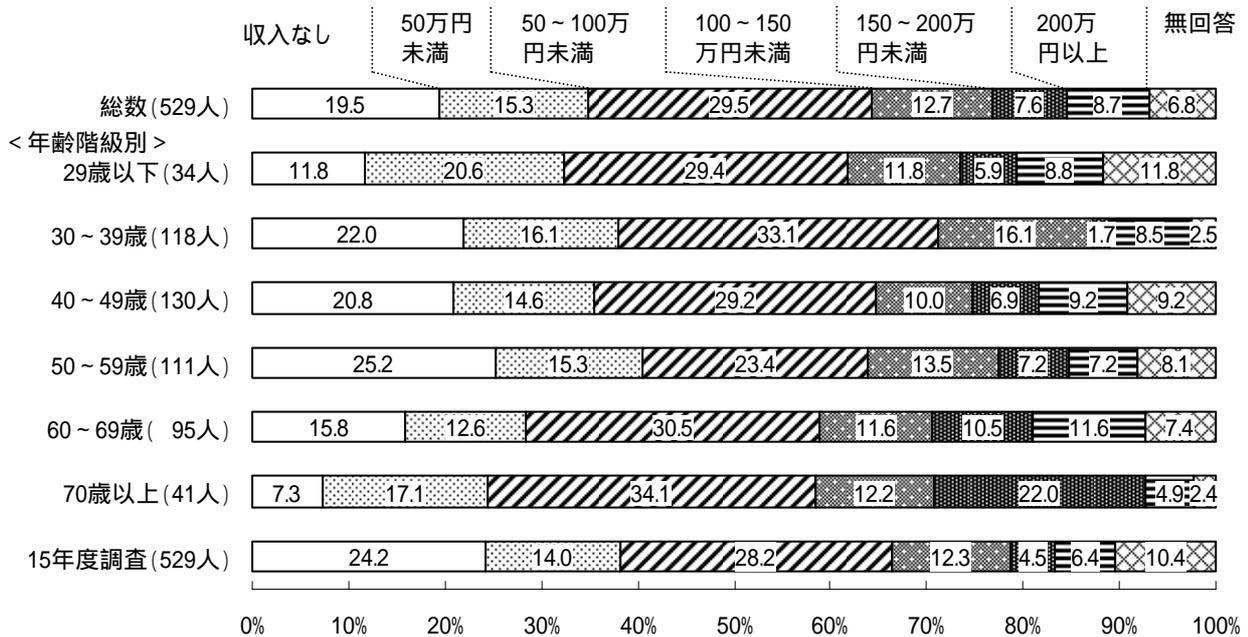
(2) 年間収入額（生活保護費を除く） - 年齢階級別

ねんしゅう へいせい ねんちゅう しゅうにゅうがく わりあい もっと たか
 年収は「50～100万円未満」の割合が最も高い

平成19年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が高く29.5%である。年齢階級別にみると30～39歳では「収入なし」も含めた100万円未満の割合が7割を超えている(71.2%)。(図 -6-3 本文184p)

とひ へいせい ねんちゅう しゅうにゅうがく しゅうにゅう じしん はたら え
 問 あなたの平成19年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た
 しゅうにゅう さぎょうしょ しゅうにゅう ねんきん てあて しゅうにゅう かぞく
 収入や作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や家族からの
 しあく こづか ふく せいかつ ほ こひ のぞ
 仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

図 -6-3 年間収入額（生活保護費を除く） - 年齢階級別



3 社会参加

現在利用している施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕

- 性別、平日の日中主に過ごしたところ別

平日の日中主に通所施設(作業所、授産施設など)、地域活動センター、デイケア等、入所施設で過ごしている96人が対象

現在利用している施設に対する不満の内容は、「工賃が少ない」の割合が最も高い

平日の日中主に通所施設(作業所、授産施設など)、地域活動センター、デイケア等、入所施設で過ごしている人で、現在利用している施設に「不満がある」と答えた割合は47.9%、「不満はない」は45.8%であった。

平日の日中主に通所施設(作業所、授産施設など)で過ごした人は「不満がある」の割合が63.6%で、その内容は「工賃が少ない」の割合が50.0%と高くなっている。(表 -7-2 本文 187p)

問 あなたは、現在利用している施設に対して不満はありますか。

表 -7-2 現在利用している施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕

- 性別、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	不満がある	不満の内容														不満はない	無回答			
			自由がない	個室がない	プライバシーが確保されない	言いたいことが言えない	情報やコミュニケーションがとれない	職員の利用者に対する接し方に不満がある	皆と同じサイクルで生活しなければならぬ	自由に外出ができない	住宅街から離れている	利用者・職員以外の人の交流がない	家族とあまり会えない	訓練や作業にやりがいがない	工賃が少ない	医療的ケアが足りない			送迎の体制が不十分	その他	
総数	100.0 (96)	47.9	3.1	4.2	5.2	12.5	6.3	9.4	6.3	2.1	1.0	4.2	3.1	2.1	24.0	2.1	2.1	6.3	45.8	6.3	
性別	男	100.0 (60)	45.0	1.7	1.7	3.3	8.3	5.0	6.7	6.7	3.3	-	3.3	3.3	1.7	23.3	3.3	3.3	6.7	46.7	8.3
	女	100.0 (36)	52.8	5.6	8.3	8.3	19.4	8.3	13.9	5.6	-	2.8	5.6	2.8	2.8	25.0	-	-	5.6	44.4	2.8
平日の日中主に過ごしたところ別	通所施設(作業所、授産施設など)	100.0 (44)	63.6	2.3	2.3	2.3	13.6	6.8	15.9	9.1	-	-	4.5	-	4.5	50.0	2.3	4.5	4.5	34.1	2.3
	地域活動支援センター	100.0 (8)	37.5	-	12.5	12.5	25.0	25.0	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	12.5
	デイケア等	100.0 (27)	33.3	3.7	-	7.4	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7	-	3.7	3.7	-	3.7	3.7	-	11.1	55.6	11.1
	入所施設(生活訓練施設、福祉ホーム等)	100.0 (17)	35.3	5.9	11.8	5.9	11.8	-	5.9	-	-	5.9	5.9	11.8	-	-	-	-	5.9	58.8	5.9

4 情報の入手やコミュニケーションの手段

情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること

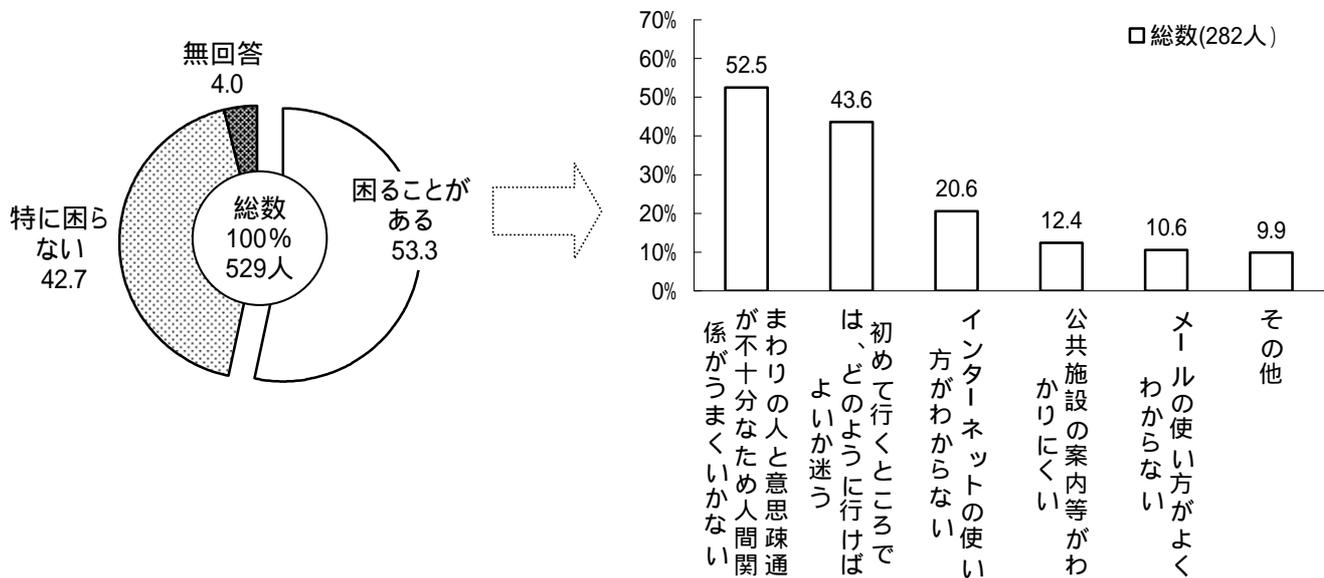
情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ることは、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ、「困ることがある」と答えた割合は53.3%と半数以上の人困ることがあると回答した。

「困ることがある」の内容で最も割合が高かったのは、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」で52.5%であった。(図 -8-2 本文 192p)

問 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

図 -8-2 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること



5 その他の福祉サービス等

今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

今後利用したい福祉サービス等は、「就労支援サービス」の割合が最も高く、前回調査よりも2.1ポイント上昇し20.2%

今後利用したい福祉サービス等は、「就労支援サービス」(20.2%)、「ホームヘルプサービス」(19.7%)、「相談サービス(地域活動支援センターなど)」(19.7%)の割合が高く、前回調査と比べて「就労支援サービス」の割合が2.1ポイント増加した。

年齢階級別にみると「就労支援サービス」の割合は30代で最も高く(34.7%)、平日の日中主に過ごしたところ別にみると「就労支援サービス」の割合は通所施設(作業所、授産施設など)で過ごした人が40.9%と高くなっている。(表 -10-4 本文 205p)

問 あなたが、今後利用したい福祉サービス等は何ですか。

表 -10-4 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	ホームヘルプサービス	授産施設等	通所サービス	ステイサポートサービス	地域活動支援センター	相談サービス	就労支援サービス	情報提供の充実	訪問看護	デイケア	メンタルケア	苦情処理	自活グループ	その他	特になし	無回答
総数	100.0 (529)	19.7	11.7	8.9	19.7	20.2	16.1	9.8	14.2	5.3	5.5	4.3	27.0	4.3			
年齢階級別	29歳以下 (34)	100.0	12.9	19.4	6.5	35.5	22.6	19.4	3.2	3.2	-	9.7	-	25.8	3.2		
	30～39歳 (118)	100.0	7.6	12.7	8.5	26.3	34.7	28.0	4.2	12.7	9.3	8.5	2.5	24.6	2.5		
	40～49歳 (130)	100.0	15.4	16.9	6.9	20.8	26.9	16.2	5.4	16.9	6.9	8.5	3.8	26.9	3.1		
	50～59歳 (111)	100.0	21.6	9.9	5.4	19.8	16.2	12.6	11.7	16.2	4.5	2.7	5.4	31.5	4.5		
	60～69歳 (95)	100.0	35.8	7.4	14.7	13.7	4.2	10.5	22.1	10.5	2.1	2.1	3.2	25.3	7.4		
	70歳以上 (41)	100.0	31.7	2.4	12.2	-	2.4	2.4	12.2	22.0	2.4	-	12.2	29.3	4.9		
	(再掲) 65歳以上 (87)	100.0	31.0	3.4	14.9	6.9	2.3	5.7	14.9	18.4	3.4	1.1	8.0	28.7	8.0		
診断名 (複数回答)別	アルコール・薬物依存症 (23)	100.0	8.7	-	8.7	21.7	30.4	13.0	-	13.0	8.7	26.1	8.7	21.7	4.3		
	統合失調症 (252)	100.0	19.0	19.0	8.3	19.4	21.4	13.9	12.7	19.4	1.6	4.8	3.6	25.4	3.6		
	そううつ病、うつ病 (171)	100.0	19.9	4.1	6.4	24.6	18.7	22.2	6.4	8.2	7.6	8.2	2.9	31.6	4.7		
	人格障害 (15)	100.0	33.3	13.3	-	13.3	26.7	26.7	-	13.3	33.3	13.3	6.7	13.3	-		
	てんかん (52)	100.0	17.3	7.7	11.5	17.3	25.0	15.4	11.5	5.8	3.8	3.8	1.9	36.5	3.8		
平日の日中主に 過ごしたところ別	自分の家 (354)	100.0	22.0	8.5	8.2	21.2	18.6	17.8	10.2	12.7	5.1	5.1	3.1	27.7	3.4		
	職場 (52)	100.0	9.6	1.9	9.6	9.6	30.8	23.1	-	7.7	5.8	9.6	1.9	44.2	1.9		
	通所施設(作業所、授産施設など) (44)	100.0	6.8	36.4	11.4	22.7	40.9	9.1	11.4	4.5	9.1	9.1	6.8	20.5	2.3		
	デイケア等 (27)	100.0	25.9	25.9	7.4	25.9	11.1	11.1	22.2	55.6	-	7.4	-	11.1	3.7		
	入所施設(生活訓練施設、福祉ホーム等) (17)	100.0	35.3	11.8	5.9	5.9	11.8	11.8	17.6	17.6	11.8	-	23.5	11.8	11.8		
15年度調査	100.0 (529)	25.3	17.4	8.3	23.1	18.1	20.4	14.2	15.9	5.9	4.7	4.3	23.4	2.8			